

令和 7 年 度

工事番号 平土第 8 号

板 沢 橋 橋 梁 補 修 工 事

平 川 市 碓 ヶ 関 地 内

実 施 設 計 縮 小 図 面

平 川 市 建 設 部 建 設 課

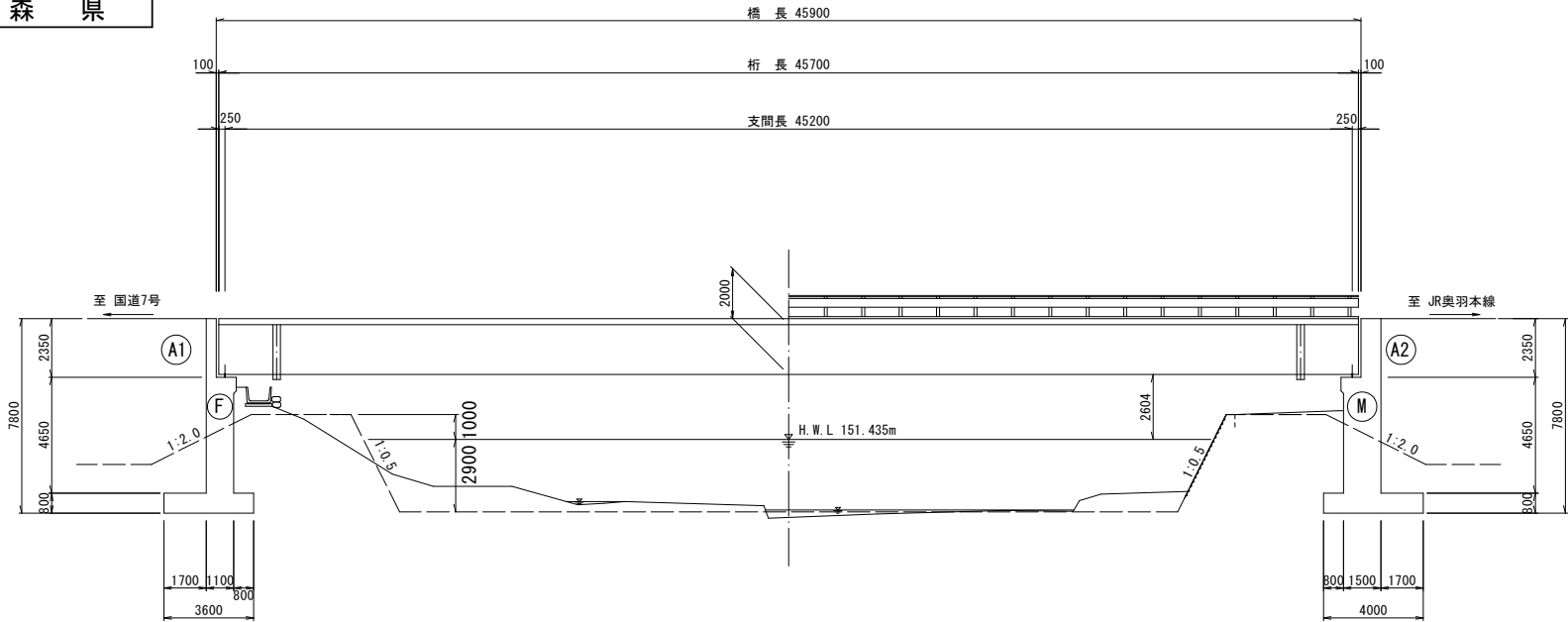
令和 7 年 度			板沢橋橋梁補修工事		
工事番号		平 土 第 号			
路 線 名 河 川		碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線			
施 工 所 箇 所		平川市碓ヶ関 地内			
板沢橋 現況一般図		縮尺 図 示			
図面番号		業 中			
平 川 市					
青 森 県					

1/25

板沢橋 現況一般図

側面図

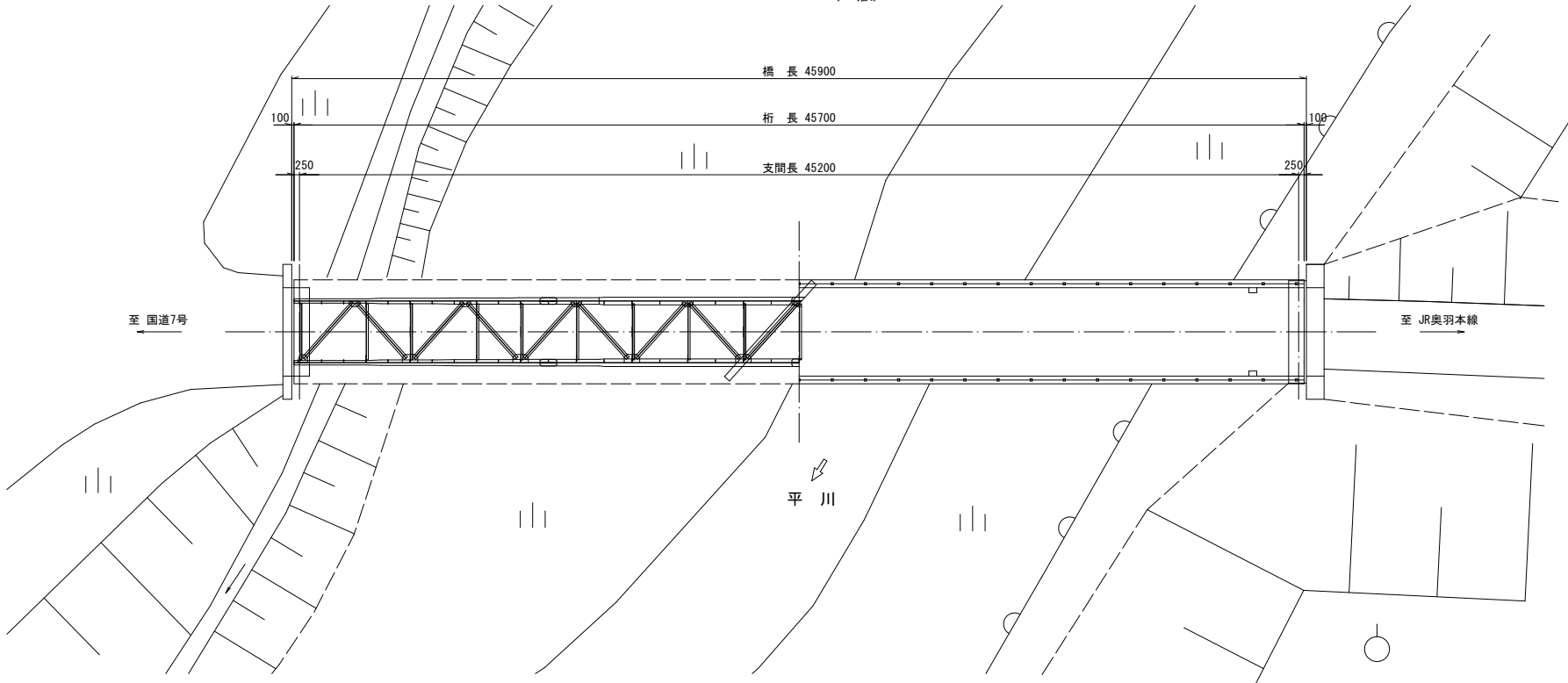
S=1:150 (A1版)
S=1:300 (A3版)



※ フーチング形状は既存資料からの想定値である。

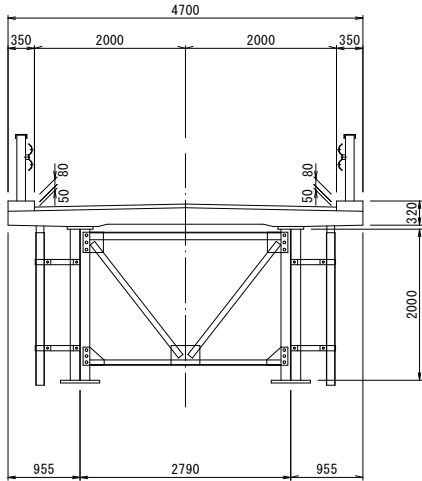
平面図

S=1:150 (A1版)
S=1:300 (A3版)



上部工断面図

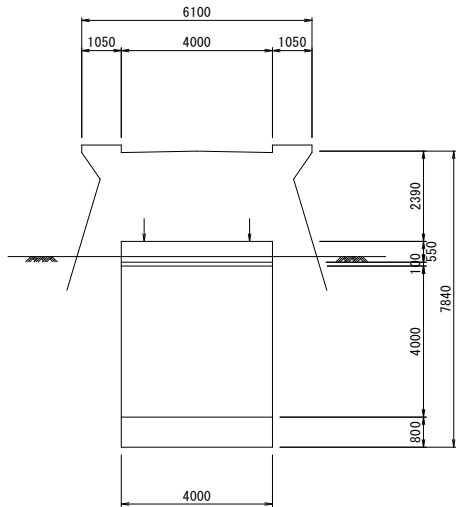
S=1:50 (A1版)
S=1:100 (A3版)



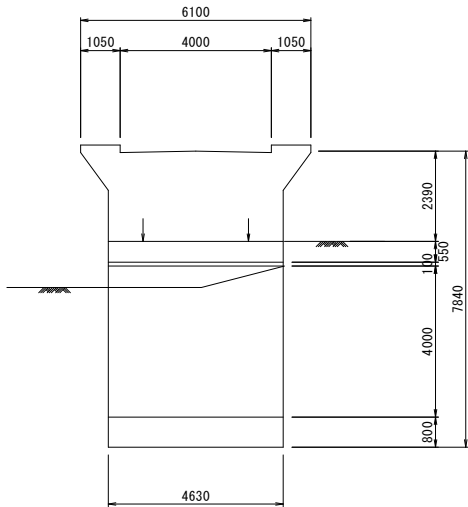
下部工正面図

S=1:100 (A1版)
S=1:200 (A3版)

A1橋台



A2橋台



設計条件

橋名	板沢橋	
路線名	市道 碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線	
交差状況	平川	
供用年月日	昭和42年8月 (1967年8月)	
上部構造	設計活荷重	TL-14
	形式	活荷重合成1桁
	橋長	45.900m
	桁長	45.700m
	支間長	45.200m
	有効幅員	4.000m
造全	幅員	4.700m
	支承	鋼製支承
	斜角	90° 00' 00" (河川流向55° 00' 00")
下部構造	形式	逆T式橋台
	基礎	不明
適用基準	道路橋示方書 昭和39年	

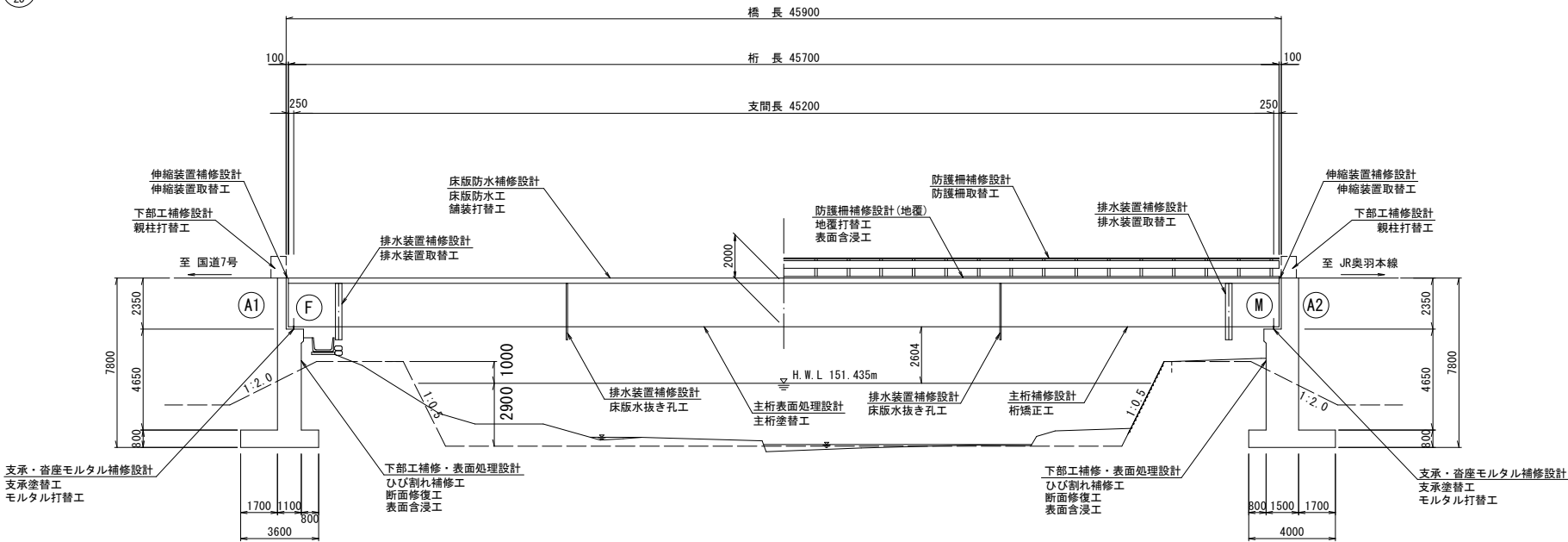
令和7年度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路線名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施工所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 補修一般図	縮尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

2
25

板沢橋 補修一般図

側面図

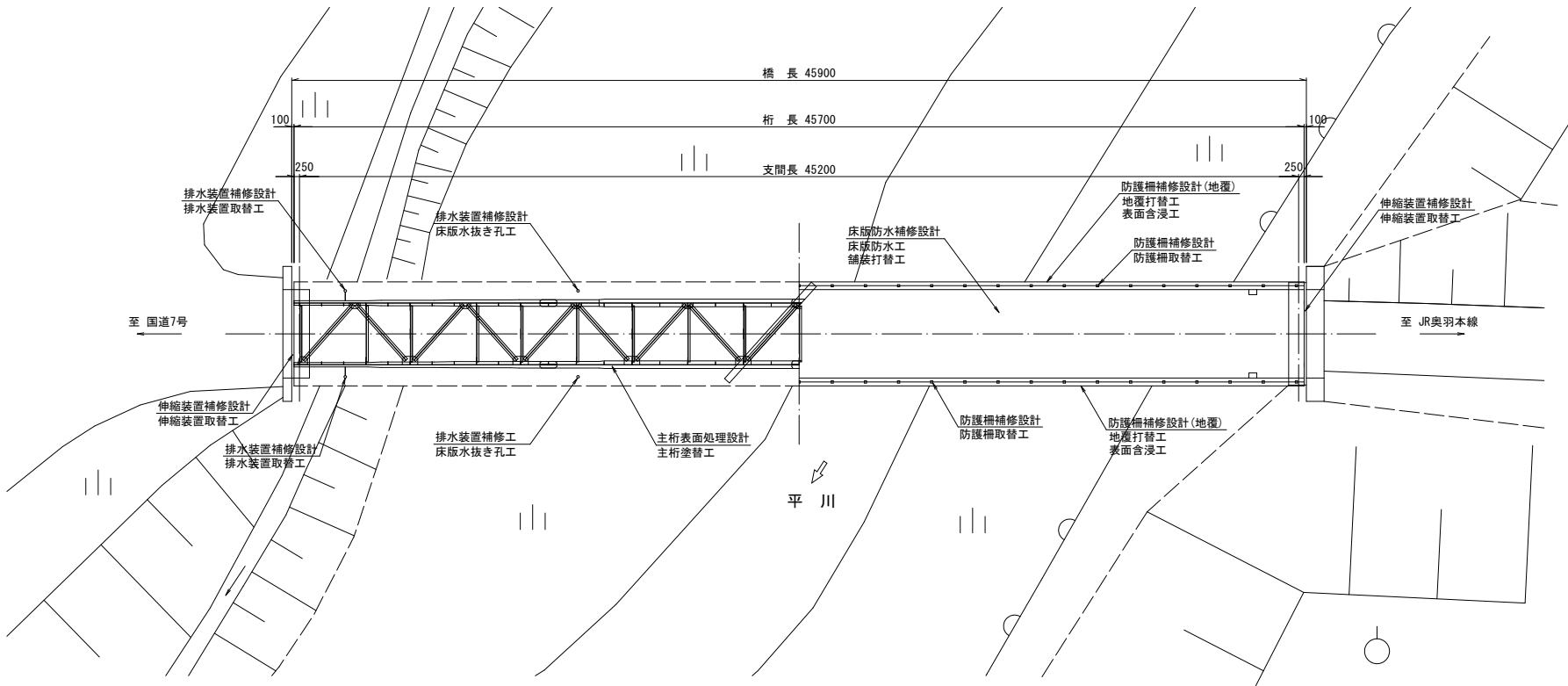
S=1:150 (A1版)
S=1:300 (A3版)



※ フーチング形状は既存資料からの想定値である。

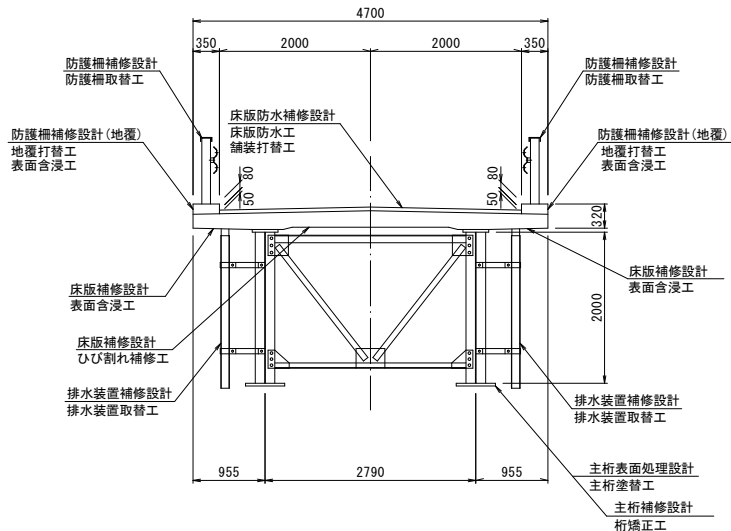
平面図

S=1:150 (A1版)
S=1:300 (A3版)



上部工断面図

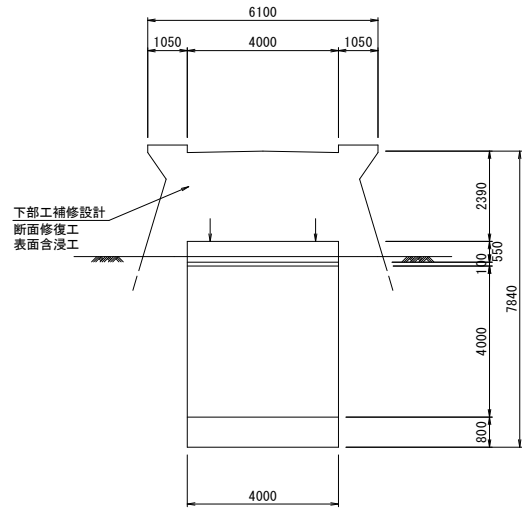
S=1:50 (A1版)
S=1:100 (A3版)



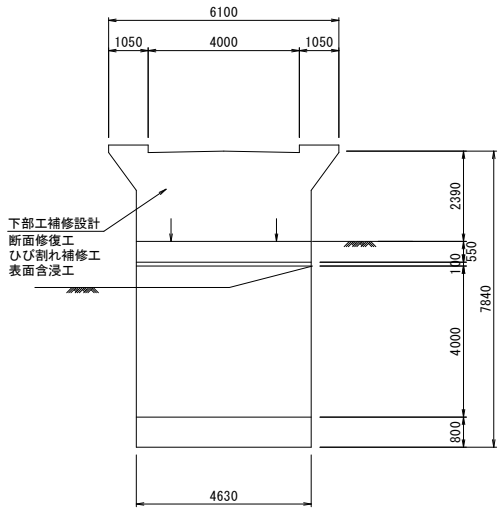
下部工正面図

S=1:100 (A1版)
S=1:200 (A3版)

A1橋台



A2橋台



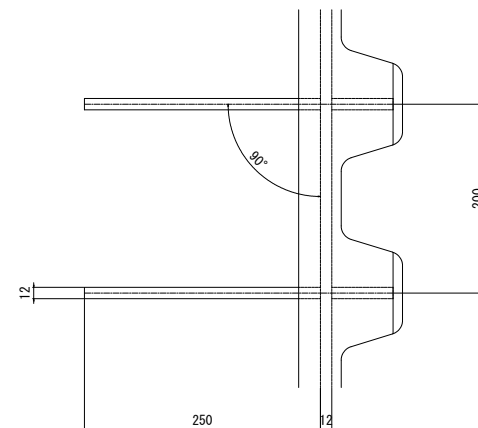
補修項目

部 材	補 修 工 法	工 法 概 要
橋 工	伸縮装置	伸縮装置取替工 鋼製ジョイント（非排水型）
	床版上面	床版防水工 複合床版防水層 舗装打替工 アスファルト舗装
防 護 柵 工	地 覆	地覆打替工 コンクリート $\sigma_{ck}=24N/mm^2$
	表面含浸工	表面含浸工 高分子系浸透性防水材料
上 部 工	防護柵	防護柵取替工 笠木付きガードレール
	床版下面	ひび割れ補修工 ひび割れ充填（可とう性エポキシ樹脂） 表面含浸工 高分子系浸透性防水材料
主 桁	桁端正工	桁端正工法
	主桁塗替工	Rc-I塗装系（循環式ハイブリッドプラスト）
支 承 工	支 承	支承塗替工 金属溶射
	資産モルタル補修工	資産モルタル打替（無収縮モルタル）
下 部 工	橋 台	ひび割れ補修工 ひび割れ充填（可とう性エポキシ樹脂） 断面修復工 断面修復（左官工法） 表面処理工 高分子系浸透性防水材料
	排水装置	排水管取替工 ステンレス製 床版排水抜き孔工 床版排水パイプ（地覆用）
そ の 他	親 柱	親柱打替工 コンクリート $\sigma_{ck}=24N/mm^2$

$\frac{3}{25}$

(A1橋台)

S=1:4 (A1版)
S=1:8 (A3版)

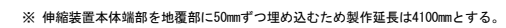


S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)

1950	1950

番号	径	長さ	本数	単位質量	1本あたりの質量	質量	形状	材質	適用
①	D16	1950	10	1.560	3.04	30	——	SD345	
					合計	30	kg		
D16 差筋アンカー						86	本		

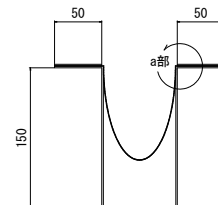
S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)



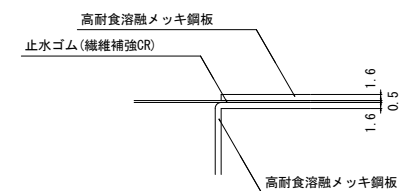
A1 橋台



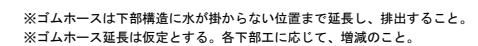
(Sタイプ)



a部詳細図

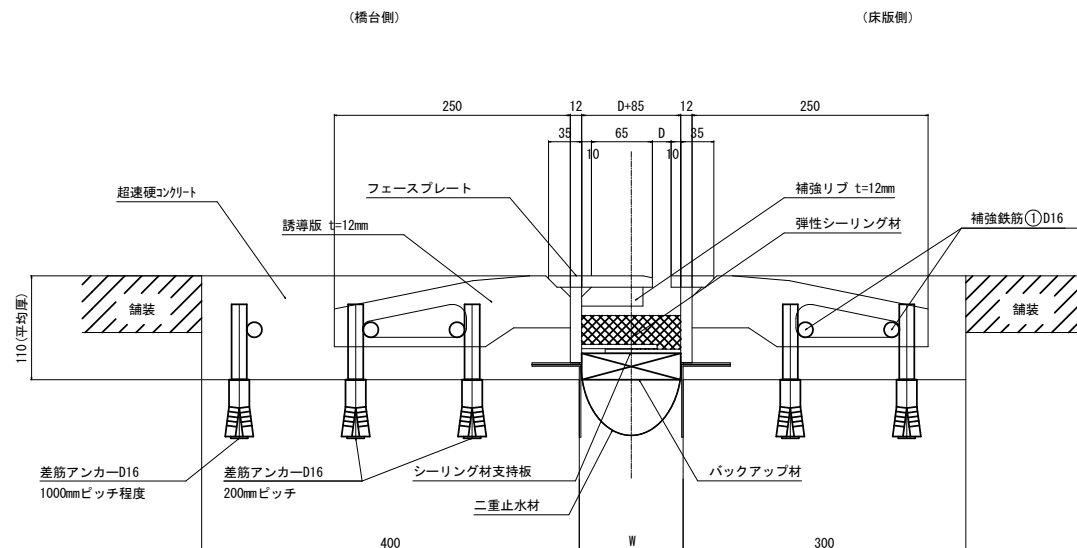


S=1:4 (A1版)
S=1:8 (A3版)



1. 施工延長等は現場実測の上決定すること。
2. 遊間は外気温20℃時の測定値とする。

車道部:伸縮量30mmタイプ



Technical drawing of a road cross-section showing a drainage ditch with a 90-degree slope, a 19#200=3800 reinforcement, and a 150mm wide ditch. Dimensions include 4000, 2000, 350, 50, 16, 800, 164, 36, 800, 1000, 1950, and 50. Labels include '車道部伸縮装置', '目地処理', '端部立ち上げ', '既設親柱', '誘導板t=12mm', and '①D16'.

橋長 45900
 桁長 45700

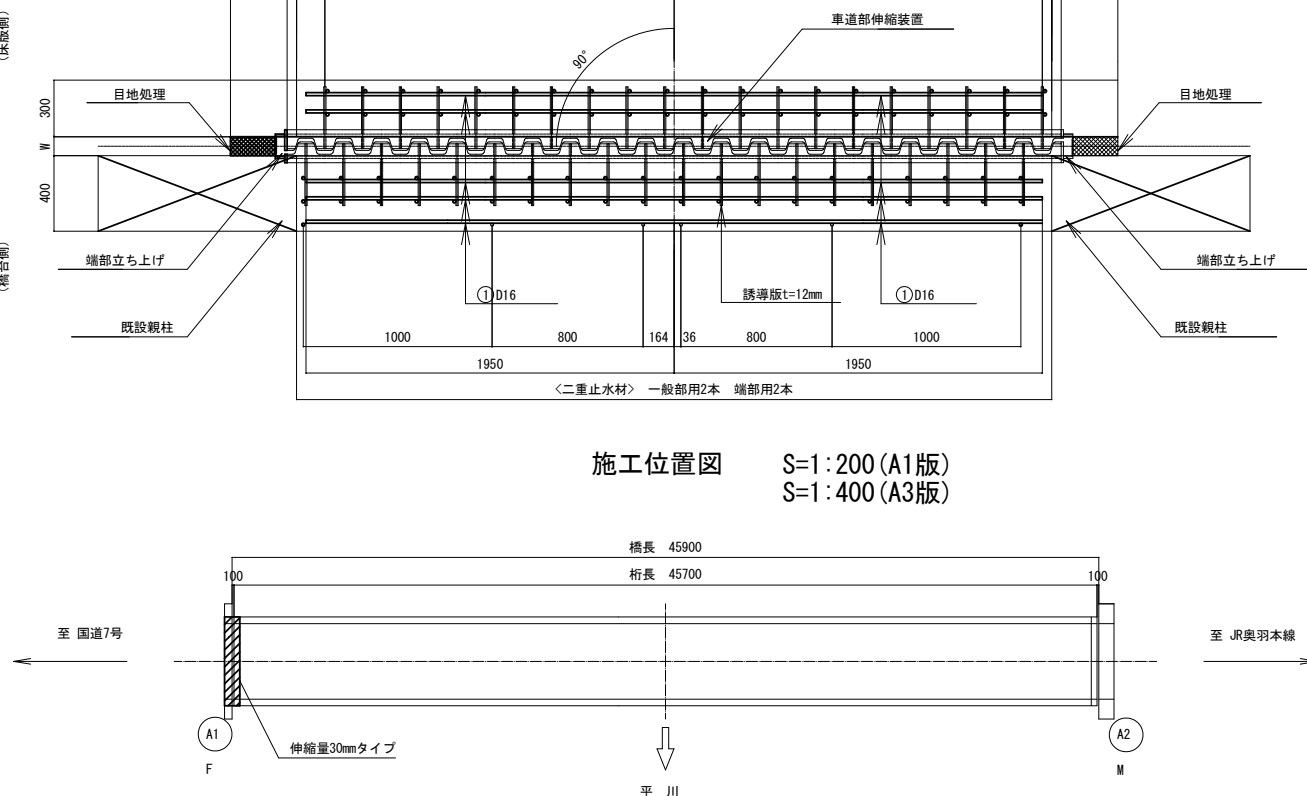
100

至 JR奥羽本線

A2

M

平 川



令和7年度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路線名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施工所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 伸縮装置補修図(その2)	縮尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

4
25

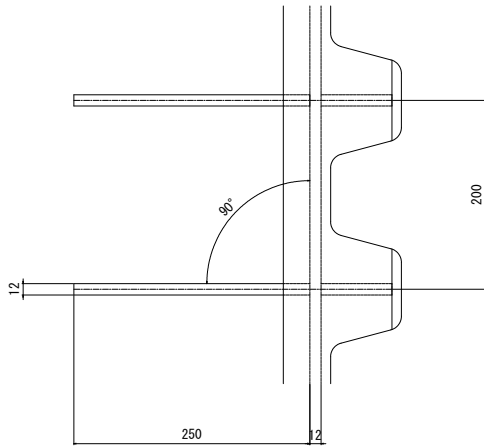
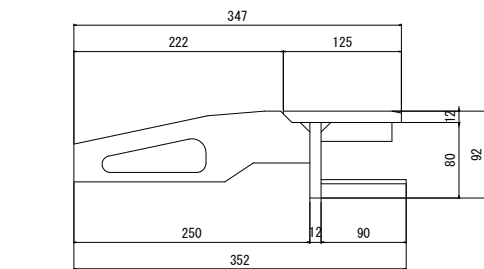
板沢橋 伸縮装置補修図（その2）

(A2橋台)

リブプレート詳細図

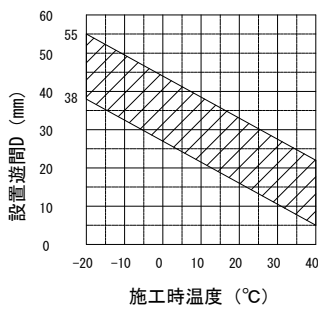
S=1:4 (A1版)

S=1:8 (A3版)



設置遊間表

A2 橋台



伸縮量: ΔL
 $\Delta L = 0.72 \times L \times \sin \theta + 10$
 $= 0.72 \times 45.7 \times \sin 90^\circ + 10$
 $= 42.9 \text{ mm}$

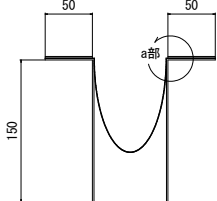
※設置表の上下限は余裕量を除いた温度伸縮量とする。

二重止水材詳細図

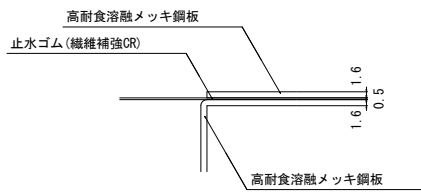
S=1:4 (A1版)

S=1:8 (A3版)

(Sタイプ)



a部詳細図



鉄筋加工図

S=1:20 (A1版)

S=1:40 (A3版)

① 8 - D16 x 1950



鉄筋質量表

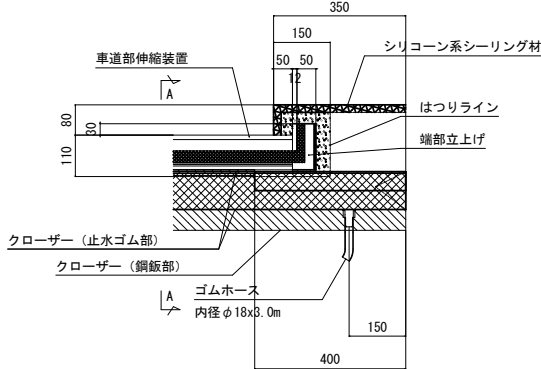
番号	径	長さ	本数	単位質量	1本あたりの質量	質量	形 状	材 質	適 用
①	D16	1950	8	1.560	3.04	24	—	SD345	
合計						24	kg		
D16 差筋アンカー				80	本				

地覆部・目地処理詳細図

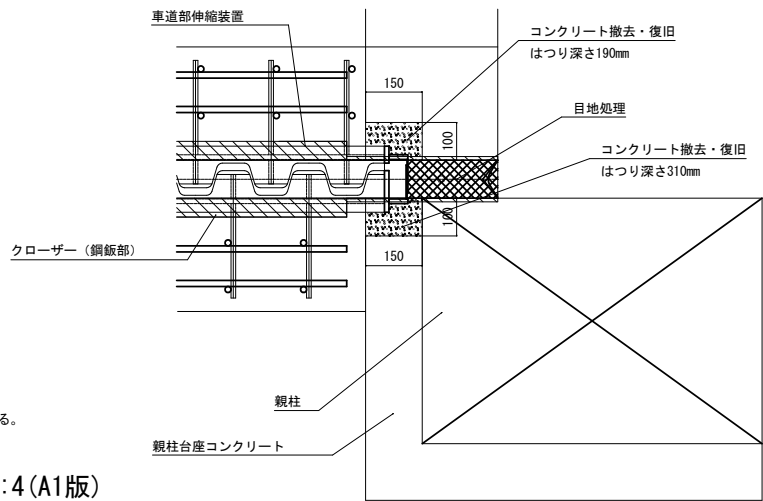
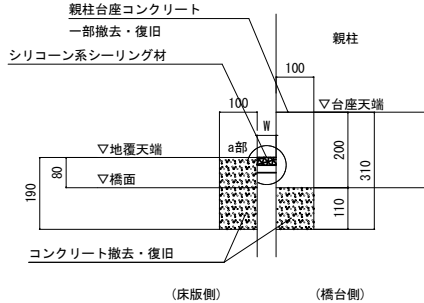
S=1:10 (A1版)

S=1:20 (A3版)

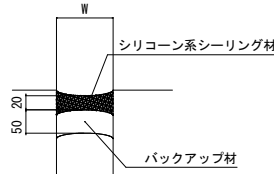
A-A 断面



※伸縮装置本体端部を地覆部に50mmずつ埋め込むため製作延長は4100mmとする。



a部詳細図

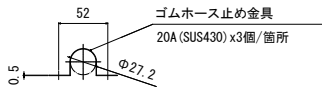


※台座コンクリートの撤去・復旧寸法は現地計測の上、調整のこと。

ホース止め金具詳細図

S=1:4 (A1版)

S=1:8 (A3版)



※ゴムホースは下部構造に水が掛からない位置まで延長し、排出すること。
※ゴムホース延長は仮定とする。各下部工に応じて、増減のこと。

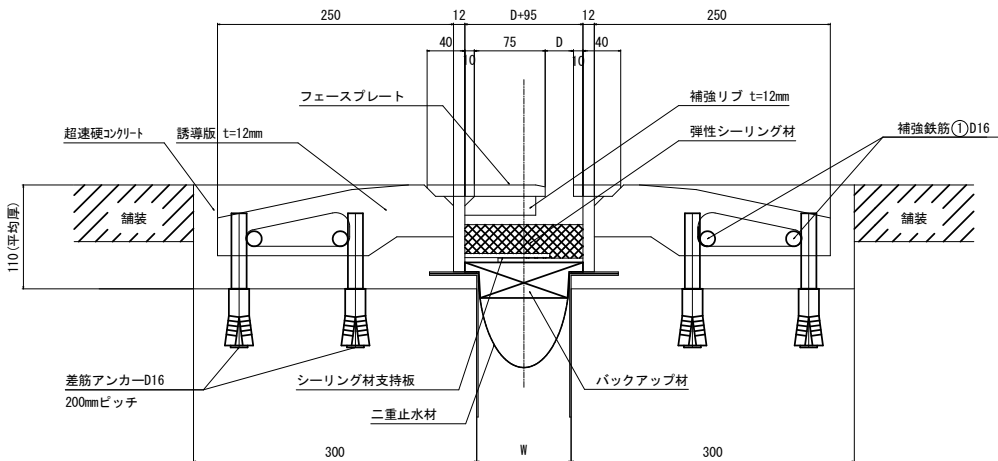
- 施工延長等は現場実測の上決定すること。
- 遊間は外気温20℃時の測定値とする。

伸縮継手断面図

S=1:4 (A1版)

S=1:8 (A3版)

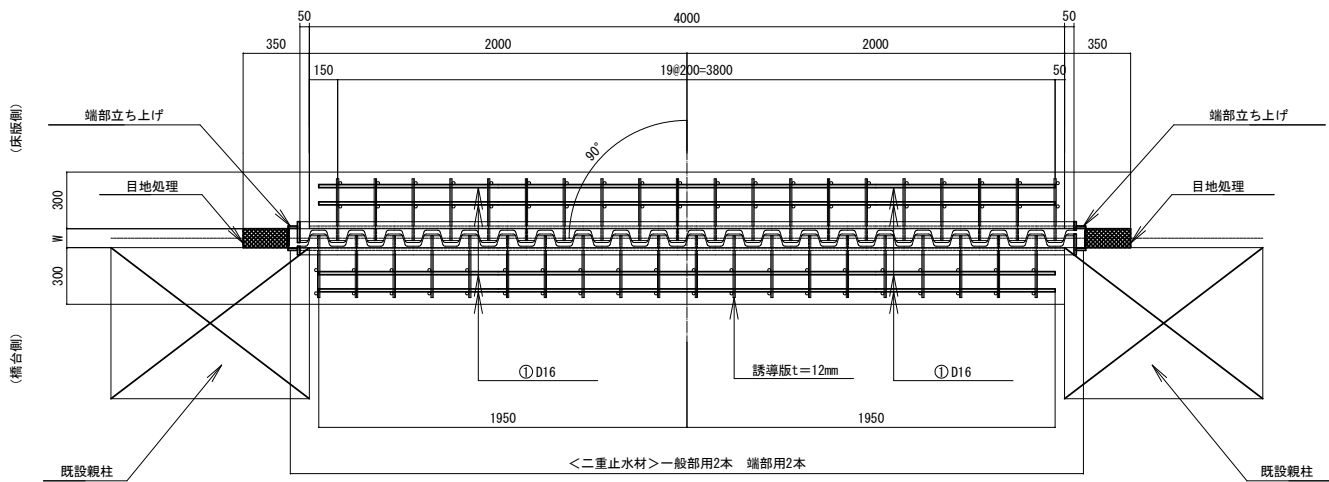
車道部:伸縮量50mmタイプ



平面配筋図

S=1:20 (A1版)

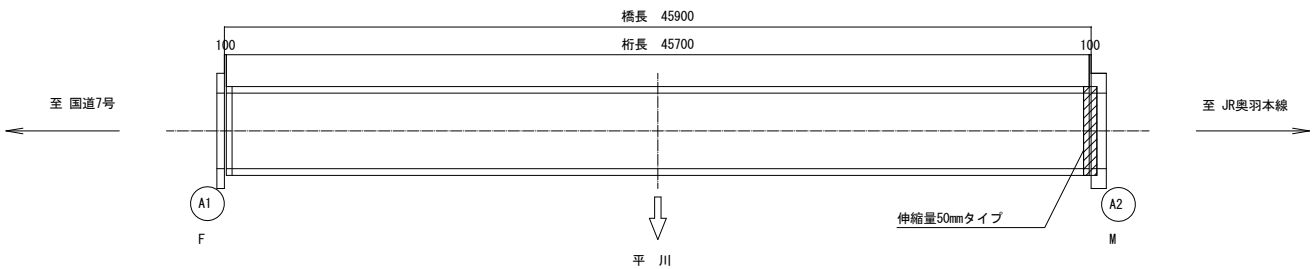
S=1:40 (A3版)



施工位置図

S=1:200 (A1版)

S=1:400 (A3版)



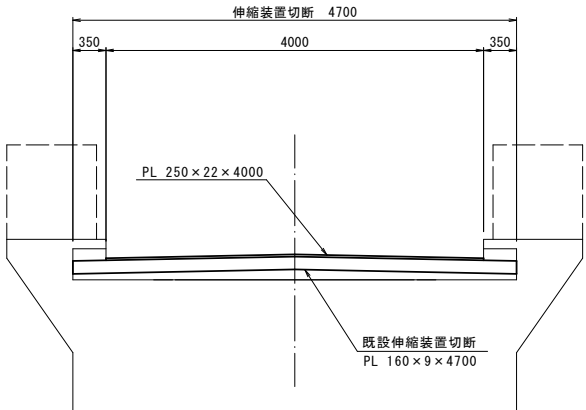
令和 7 年 度			板沢橋橋梁補修工事		
工事番号		平 土 第 号			
路 線 名 河 川		碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線			
施 工 所 箇		平川市碓ヶ関 地内			
板沢橋 伸縮装置撤去図(参考図)			縮尺 図 示		
図面番号		業 中			
平 川 市					
青 森 県					

5
25

板沢橋 伸縮装置撤去図（参考図）

正 面 図

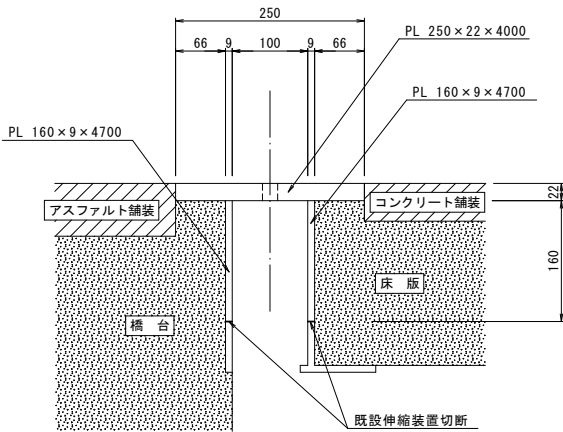
S=1:40 (A1版)
S=1:80 (A3版)



断 面 図

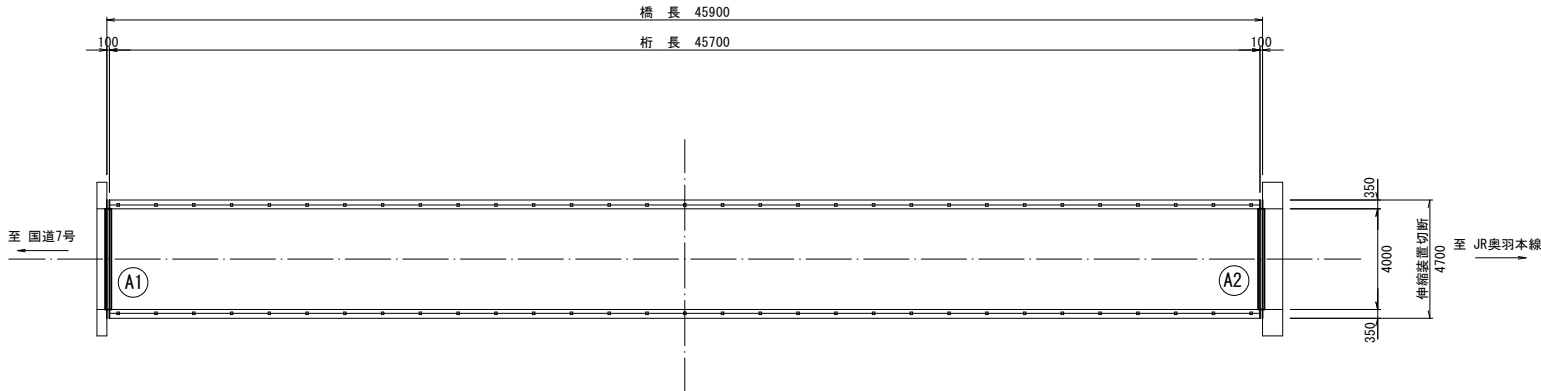
S=1:5 (A1版)
S=1:10 (A3版)

（ 車 道 部 ）



平 面 図

S=1:150 (A1版)
S=1:300 (A3版)



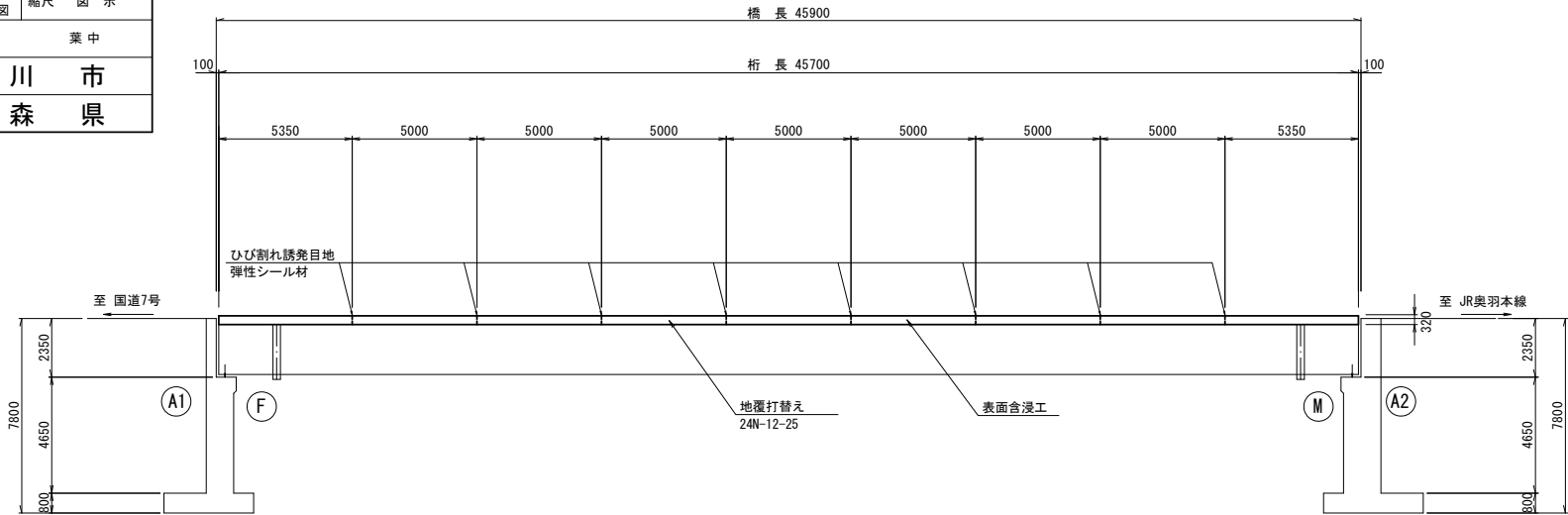
令和 7 年 度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路 線 名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施 工 所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 地覆打替工補修図	縮尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

6
25

板沢橋 地覆打替工補修図

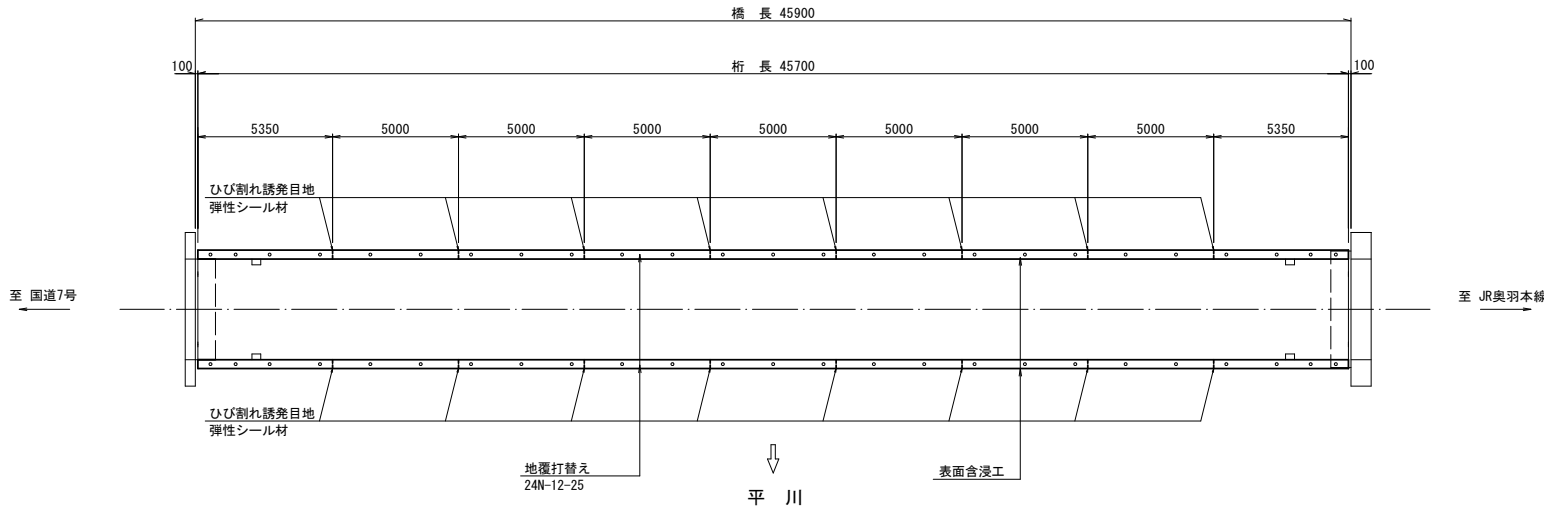
側 面 図

S=1:150 (A1版)
S=1:300 (A3版)



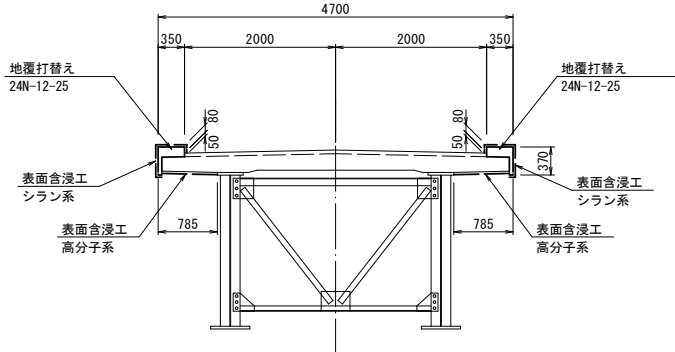
平 面 図

S=1:150 (A1版)
S=1:300 (A3版)



上部工断面図

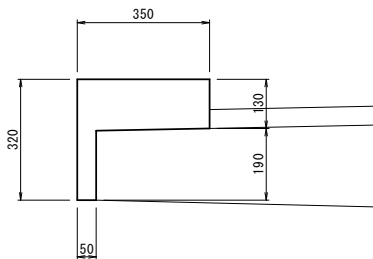
S=1:50 (A1版)
S=1:100 (A3版)



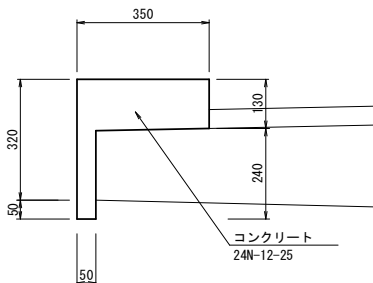
地覆打替え詳細図

S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)

地覆取壊し図



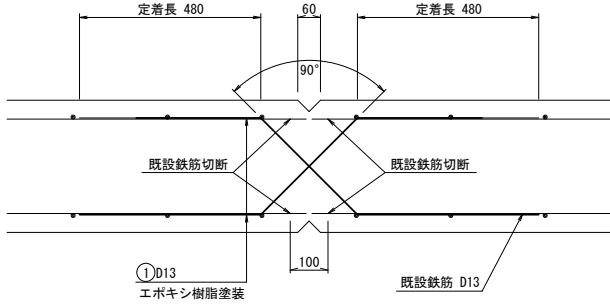
地覆打替図



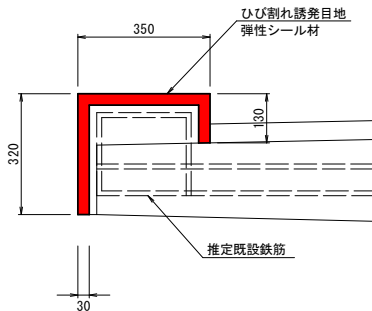
ひび割れ誘発目地詳細図

S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)

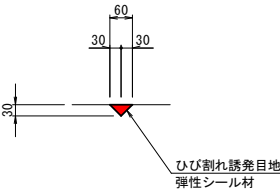
平 面 図



断 面 図

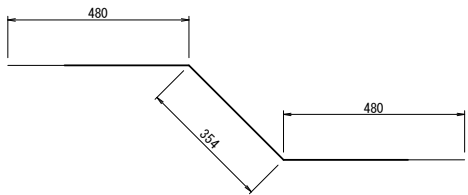


Vカット図



鉄筋加工図

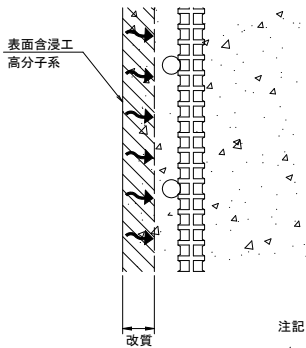
① 32-D13×1014



鉄 筋 重 量 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	摘要
1	D13	1314	32	0.995	1.307	41	
				合 計	D13	41 kg	
				総重量		41 kg	

表面含浸工



表面含浸工面積

部 位	面 積
地 覆	77.7 m2
床 版	185.5 m2

注 記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
- 地覆と床版の境目は推定であるため、取壊しは慎重に行うこと。
- 既設鉄筋に錆が確認された場合は、錆を除去し防錆処理を行うこと。

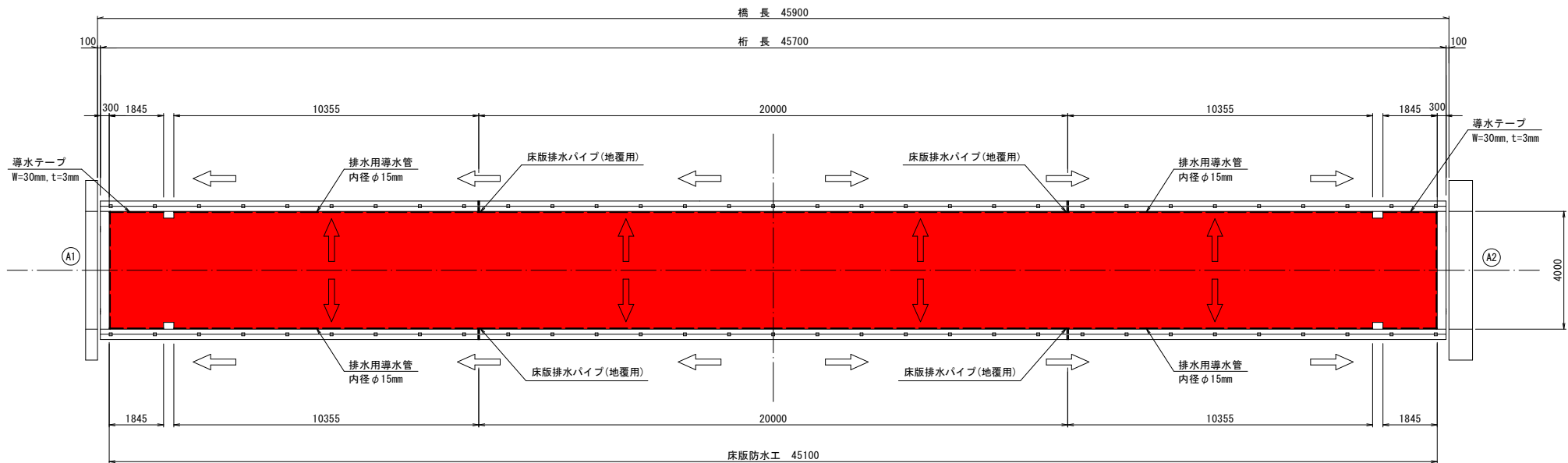
令和7年度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平土第 号
路線名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施工所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 床版防水工図(その1)	縮尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

7
25

板沢橋 床版防水工図(その1)

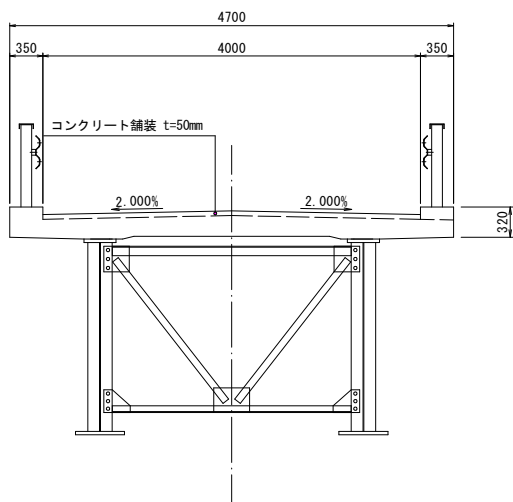
平面図

S=1:100 (A1版)
S=1:200 (A3版)



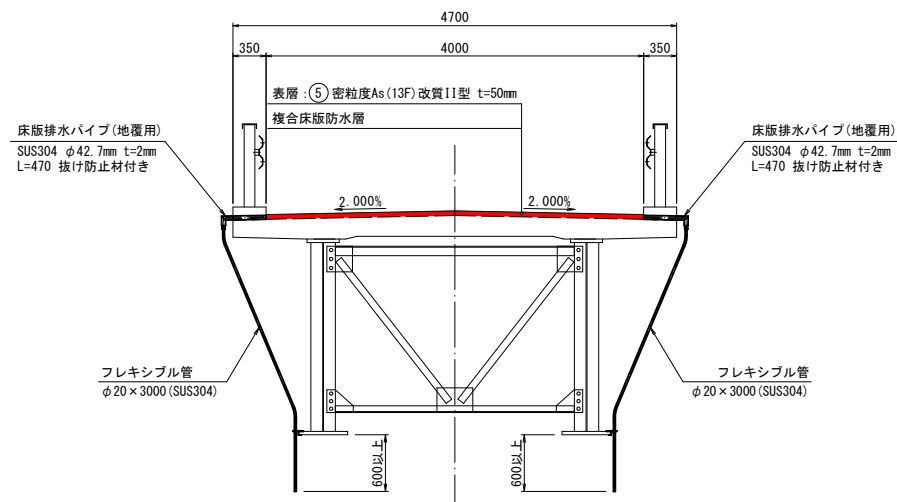
現況断面図

S=1:40 (A1版)
S=1:80 (A3版)

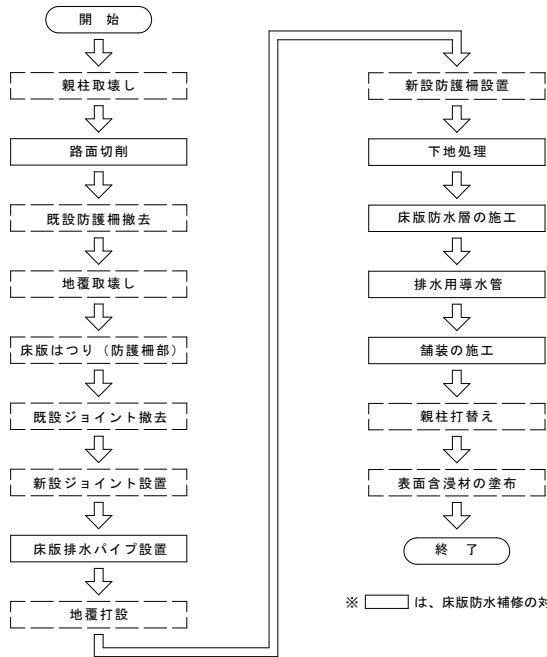


補修断面図

S=1:40 (A1版)
S=1:80 (A3版)



床版防水工の施工フロー



注記

- 本図面は、既存資料・現地検測をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
- 既設床版を削り取らず、舗装は確実に撤去し橋面防水を設置すること。
- 舗装撤去後に床版上面を点検し、損傷がある場合は補修すること。
- 床版への影響を考慮し、適切な施工をすること。
- 排水装置周りの防水層は、細心の注意を払って施工を行うこと。
- 既設排水樹の土砂を除去後、導水パイプ（導水テープ）を接続のこと。
- 導水パイプは既設排水樹および地覆水抜きパイプ位置に接続し、床版上の水を橋外へ排水させること。

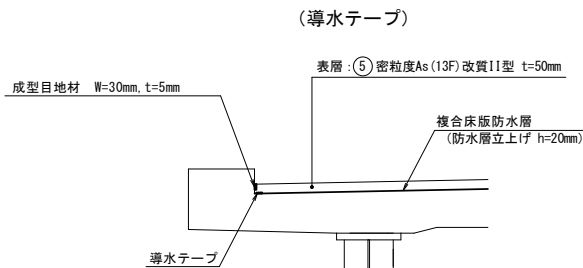
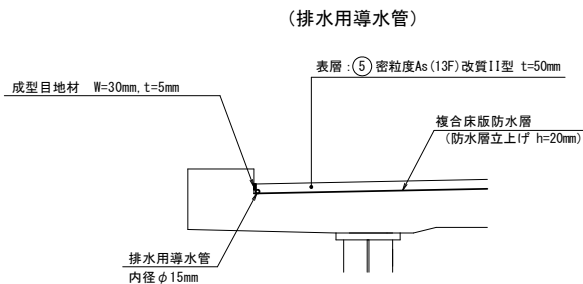
令和7年度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路線名 河 川	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施 工 所	平 川 市 碓 ヶ 関 地 内
板沢橋 床版防水工図(その2)	縮 尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

8
25

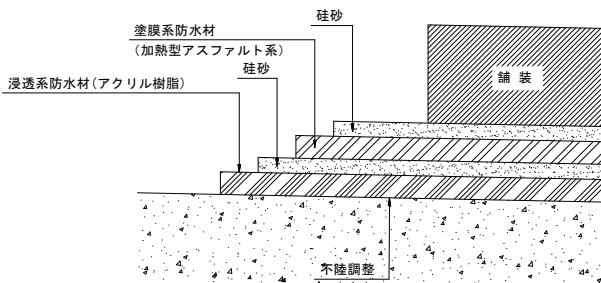
板 沢 橋 床 版 防 水 工 図 (そ の 2)

床版防水詳細図

S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)

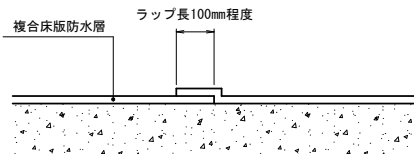


複合床版防水層詳細図



施工目地処理詳細図

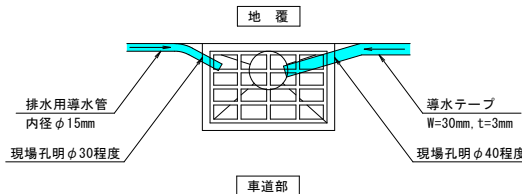
(床版防水層)



排水施設接続処理詳細図

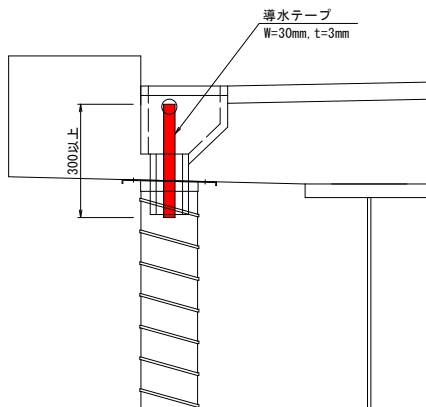
平面図

S=1:5 (A1版)
S=1:10 (A3版)



側面図

S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)



注記

- 本図面は、既存資料・現地検測をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
- 既設床版を削り取らず、舗装は確実に撤去し橋面防水を設置すること。
- 舗装撤去後に床版上面を点検し、損傷がある場合は補修すること。
- 床版への影響を考慮し、適切な施工をすること。
- 排水装置周りの防水層は、細心の注意を払って施工を行うこと。
- 既設排水樹の土砂を除去後、導水パイプ（導水テープ）を接続のこと。
- 導水パイプは既設排水樹および地覆水抜きパイプ位置に接続し、床版上の水を橋外へ排水させること。

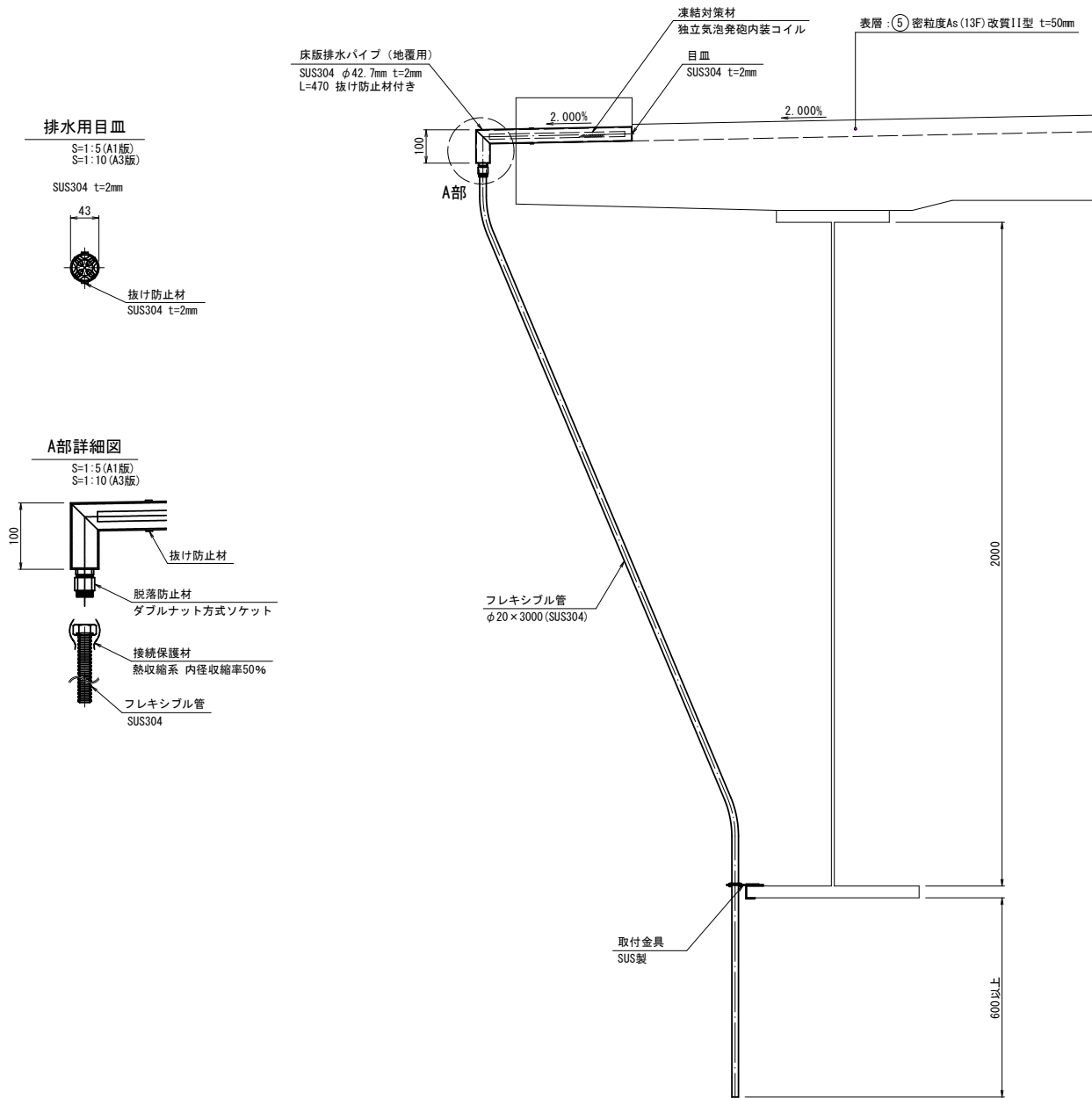
令和 7 年 度			板沢橋橋梁補修工事		
工事番号		平 土 第 号			
路線名 河 川		碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線			
施 工 所		平川市碓ヶ関 地内			
板沢橋 床版防水工図(その3)		縮尺 図 示			
図面番号		業 中			
平 川 市					
青 森 県					

9
25

板沢橋 床版防水工図(その3)

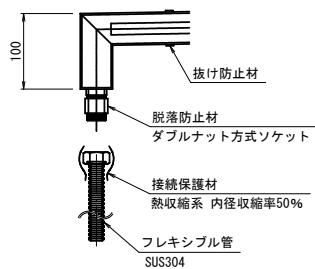
床版排水パイプ詳細図

S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)



A部詳細図

S=1:5 (A1版)
S=1:10 (A3版)

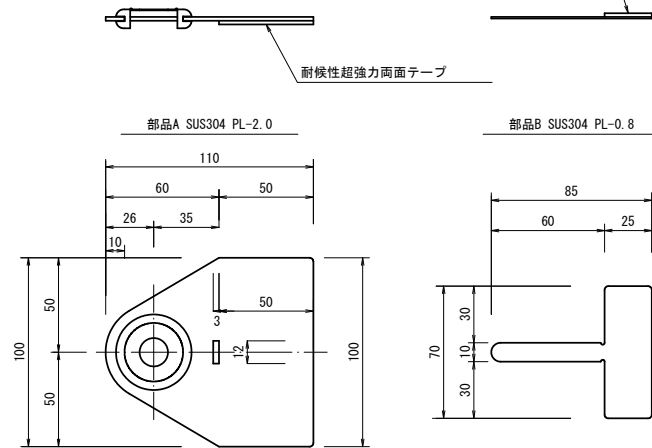


取付金具詳細図(参考図)

N=4箇所

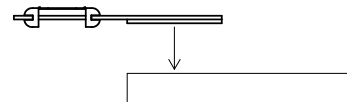
S=1:2 (A1版)
S=1:4 (A3版)

耐候性超強力両面テープ

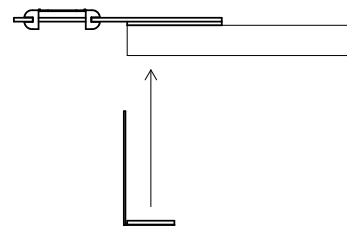


取付概要図(参考図)

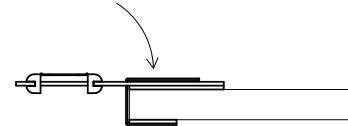
- ① フランジ面を清掃します。
部品Aをフランジ上から貼り付けます。



- ② 部品Bをフランジ下から貼り付けます。
接着効果が得られるように押さえつけます。



- ③ 部品Bの飛び出した部分をハンマー等で叩き
部品Aと固定されるように折ります。



注記

- 本図面は、既存資料・現地検測をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
- 既設床版を削り取らず、舗装は確実に撤去し橋面防水を設置すること。
- 舗装撤去後に床版上面を点検し、損傷がある場合は補修すること。
- 床版への影響を考慮し、適切な施工をすること。
- 排水装置周りの防水層は、細心の注意を払って施工を行うこと。
- 既設排水樹の土砂を除去後、導水パイプ（導水テープ）を接続のこと。
- 導水パイプは既設排水樹および地覆水抜きパイプ位置に接続し、床版上の水を橋外へ排水させること。

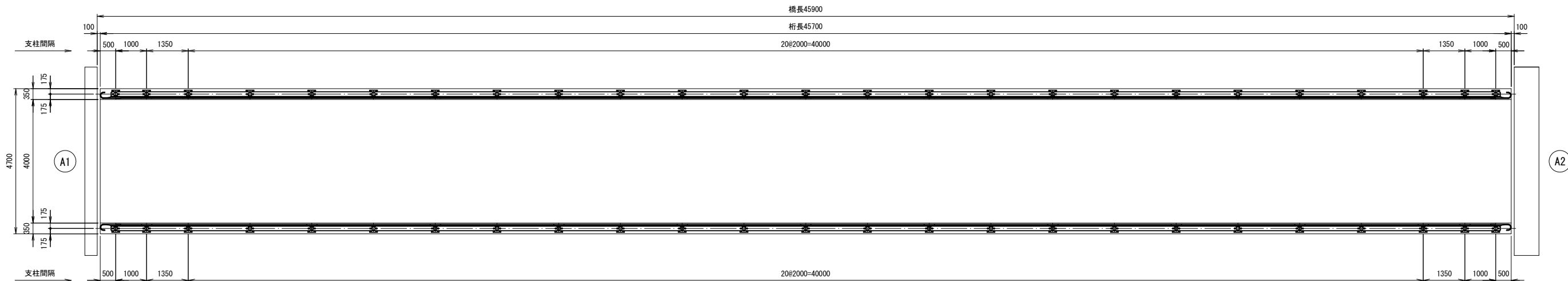
令和 7 年 度			板沢橋橋梁補修工事		
工事番号		平 土 第 号			
路線名 河 川		碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線			
施 工 所		平川市碓ヶ関 地内			
板沢橋 防護柵補修図(その1)		縮尺 図 示			
図面番号		業 中			
平 川 市					
青 森 県					

10
25

板沢橋 防護柵補修図（その1）

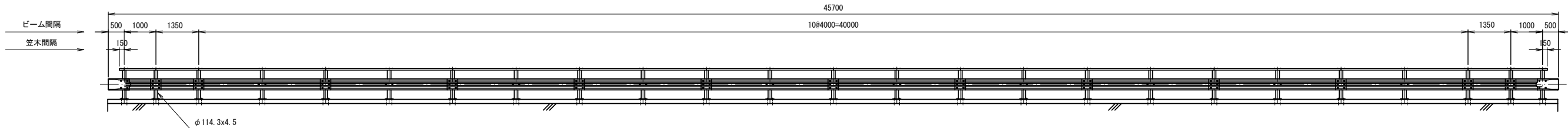
平面図

S=1:70 (A1版)
S=1:140 (A3版)



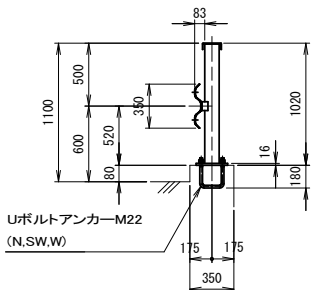
正面図

S=1:70 (A1版)
S=1:140 (A3版)



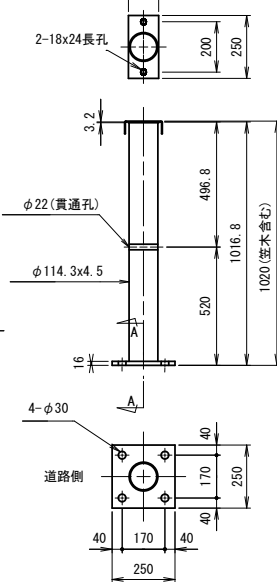
断面図

S=1:30 (A1版)
S=1:60 (A3版)



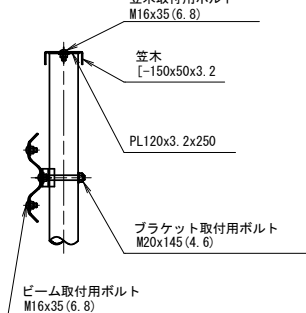
支柱

S=1:15 (A1版)
S=1:30 (A3版)



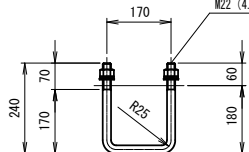
取付詳細図

S=1:15 (A1版)
S=1:30 (A3版)



U字アンカーボルト

S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)



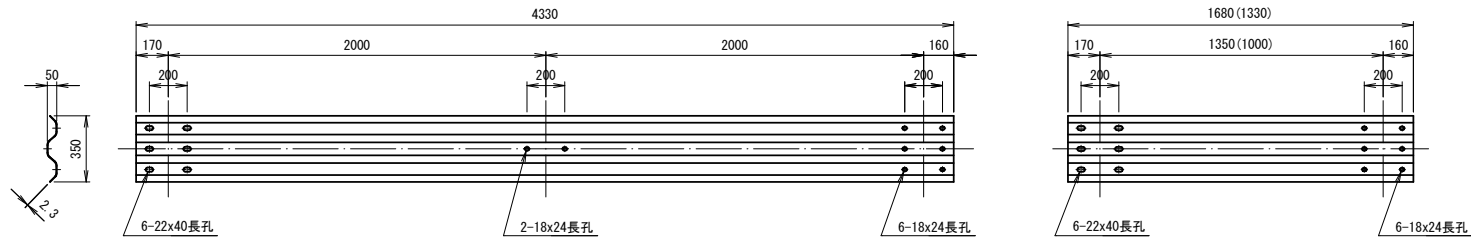
令和7年度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路線名 河 川	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施 工 所 施 工 地	平 川 市 碓 ヶ 関 地 内
板沢橋 防護柵補修図(その2)	縮 尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

11
25

板沢橋 防護柵補修図（その2）

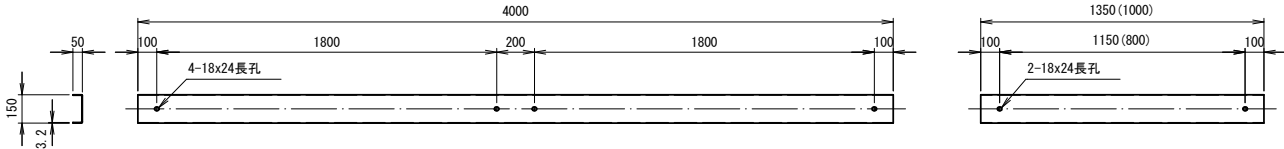
ビーム

S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)



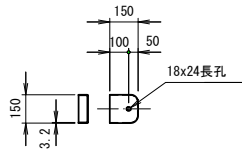
笠木

S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)



端部笠木

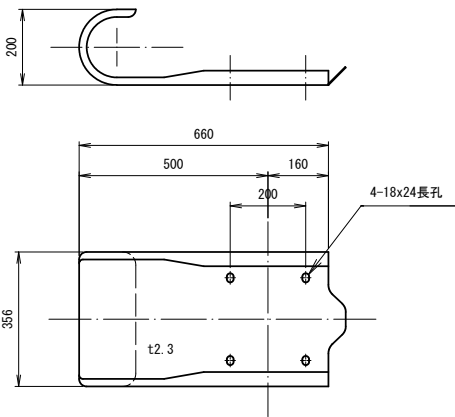
S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)



※ () はL=1000のビーム・笠木部材の値である。

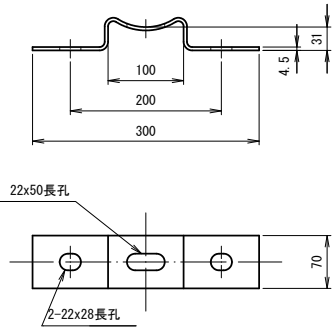
巻袖ビーム

S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)



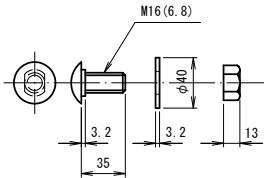
ブラケット

S=1:5 (A1版)
S=1:10 (A3版)



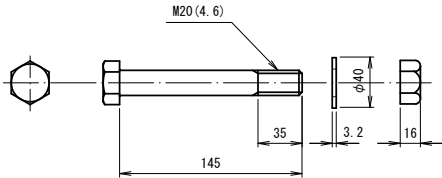
笠木・ビーム取付用ボルト

S=1:3 (A1版)
S=1:6 (A3版)



ブラケット取付用ボルト

S=1:3 (A1版)
S=1:6 (A3版)



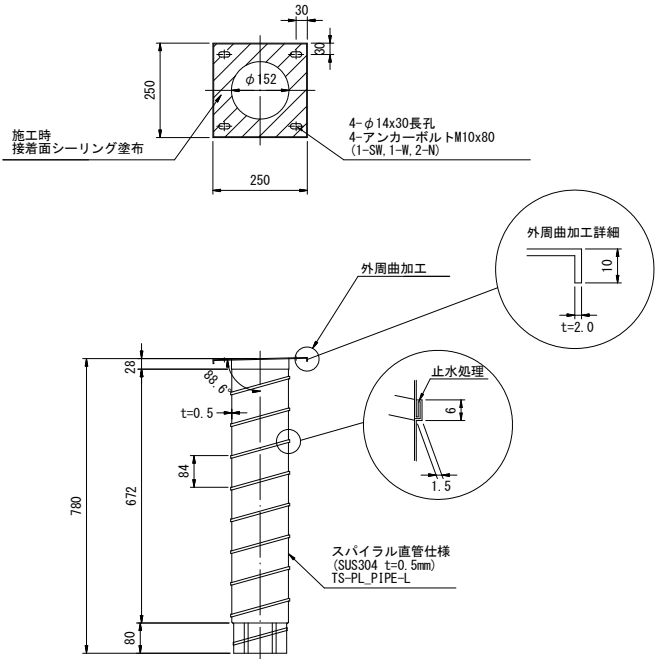
令和7年度 板沢橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路線名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施工所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 排水装置工補修図	縮尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

12
25

天板プレート一体型排水装置 TS-PL_PIPE-L

製作数=4

NETIS No. CB-190003-AIに準ずる



板沢橋 排水装置工補修図

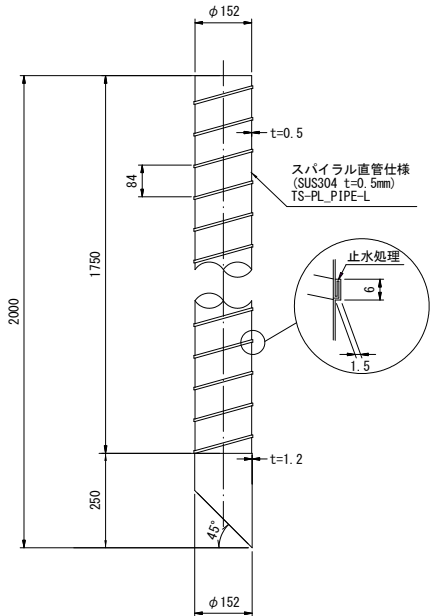
S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)

TSステンレス排水装置

高気密ステンレス排水管詳細図

TS-PIPE スパイラル直管 P1

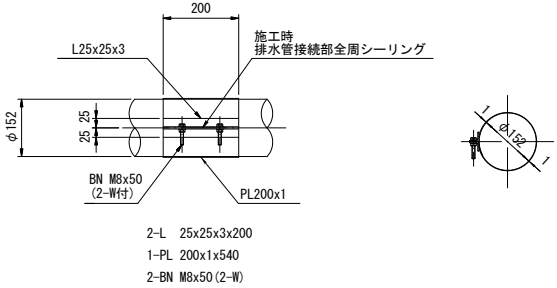
製作数=4



TSカップリング詳細図

C1

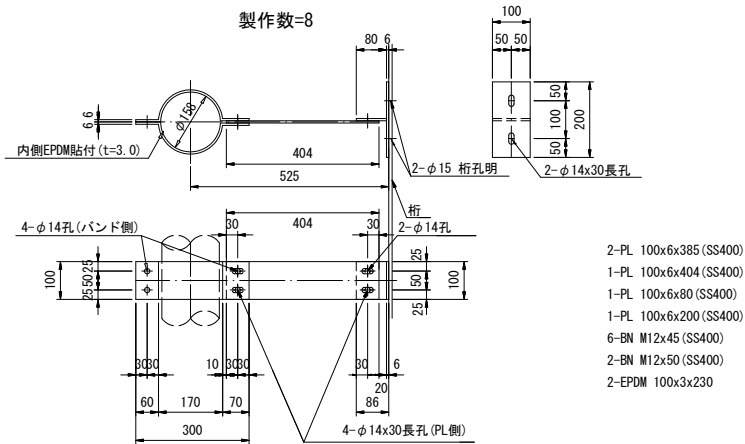
製作数=4



取付金具詳細図

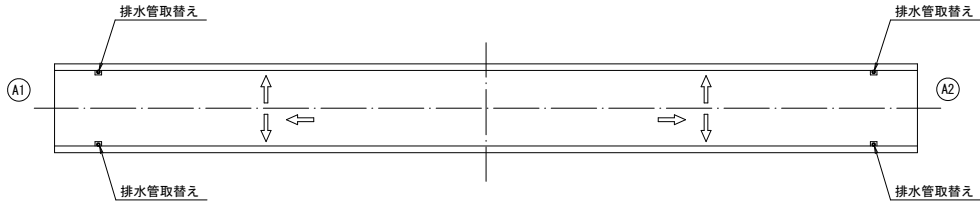
TS-T1

製作数=8



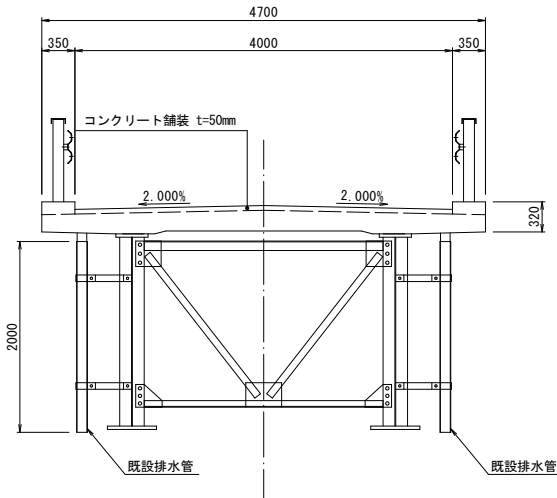
全 体 図

S=1:200 (A1版)
S=1:400 (A3版)



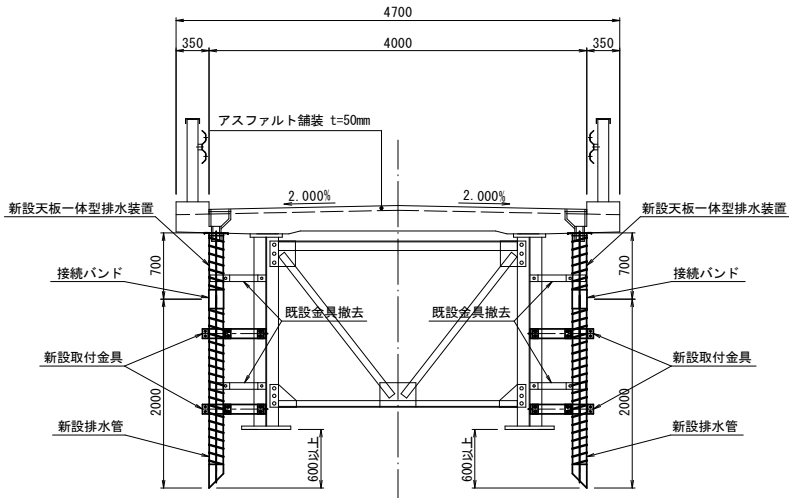
現 況 断 面 図

S=1:40 (A1版)
S=1:80 (A3版)



補 修 断 面 図

S=1:40 (A1版)
S=1:80 (A3版)



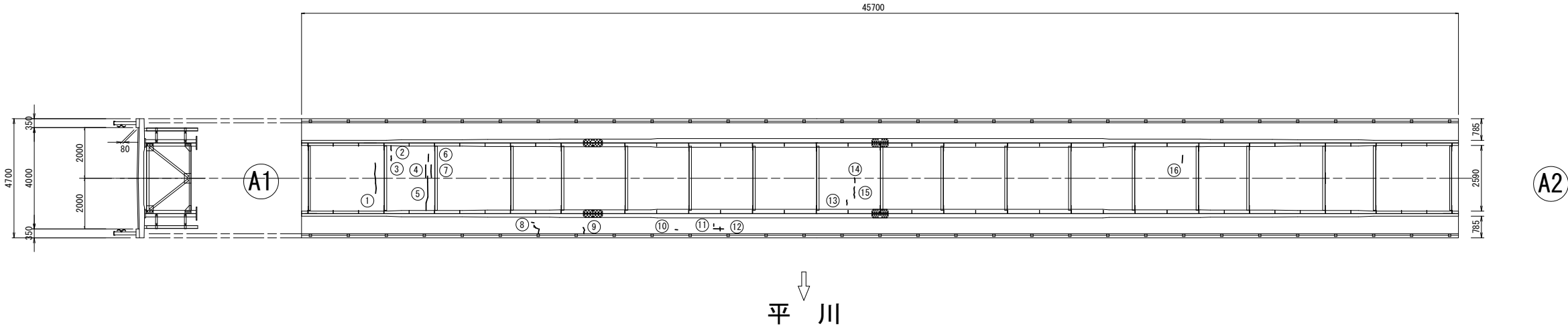
- 特記なき材質はすべてSUS304とする。
- 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
- 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. CB190003-AIに準ずる。
- SS400は全て溶融亜鉛メッキ (特記なき場合はJIS H 8641 2種 HDZ55) 仕上げる。
- 但し、ボルト類はHDZ35とする。
- 2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
- 現地調査にて寸法確定後製作する。

令和 7 年 度		板沢橋橋梁補修工事	
工事番号		平 土 第 号	
路 線 名 河 川		碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線	
施 工 所 箇		平川市碓ヶ関 地内	
板沢橋 床版工補修図		縮尺 S=1:100	
図面番号		業 中	
平 川 市			
青 森 県			

13
25

板沢橋 床版工補修図

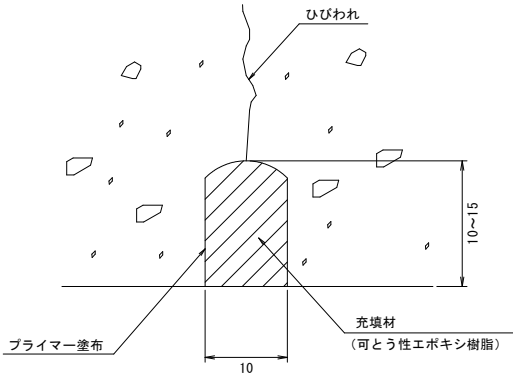
S=1:100 (A1版)
S=1:200 (A3版)



ひび割れ充填工

ひび割れ充填工延長

位 置	延 長
①	1.20 m
②	0.20 m
③	0.20 m
④	0.50 m
⑤	1.35 m
⑥	0.30 m
⑦	0.50 m
⑧	0.60 m
⑨	0.25 m
⑩	0.10 m
⑪	0.10 m
⑫	0.20 m
⑬	0.20 m
⑭	0.20 m
⑮	0.45 m
⑯	0.30 m
合 計	6.65 m

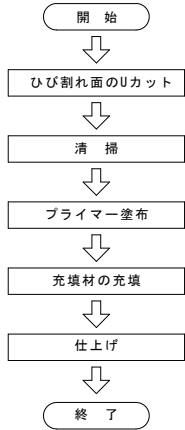


※ ひびわれ幅1.0mm以上または遊離石灰により注入が困難な場合とする。

材 料 表

工 種	仕 様
充 填 材	可とう性エポキシ樹脂

ひび割れ充填工の施工フロー



注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

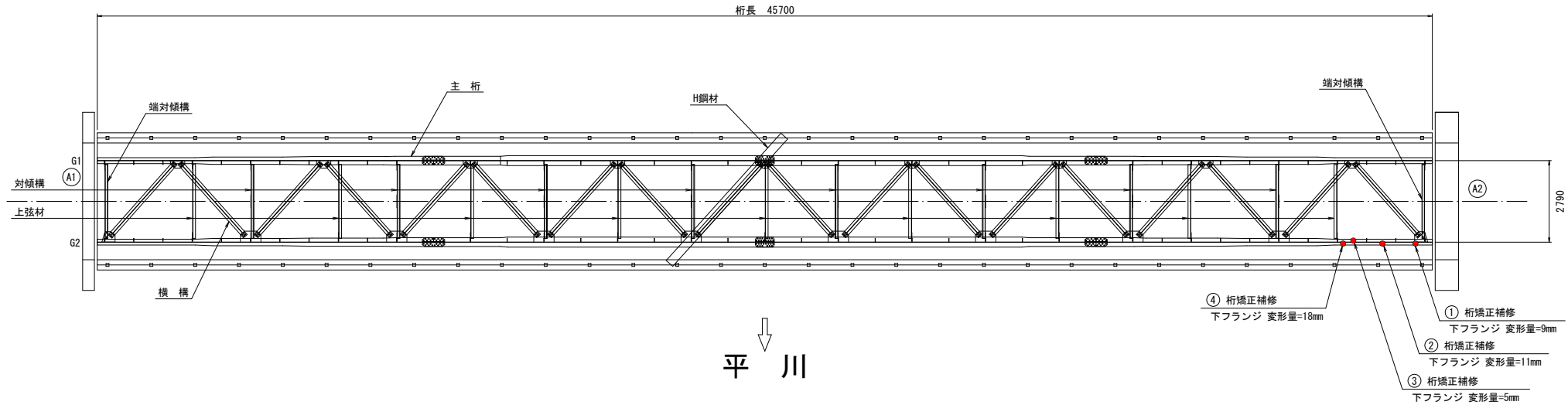
令和 7 年度		板沢橋橋梁補修工事	
工事番号		平 土 第 号	
路 線 名 河 川		碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線	
施 工 所 箇		平川市碓ヶ関 地内	
板沢橋 主桁補修図		縮 尺 図 示	
図面番号		業 中	
平 川 市			
青 森 県			

14
25

板沢橋 主桁補修図

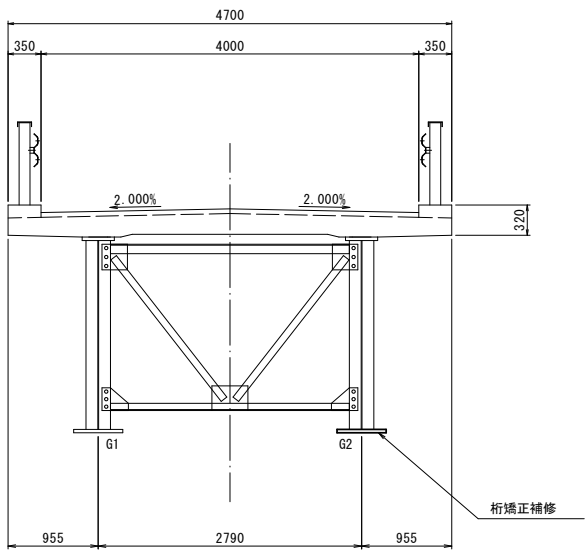
平面図

S=1:100 (A1版)
S=1:200 (A3版)

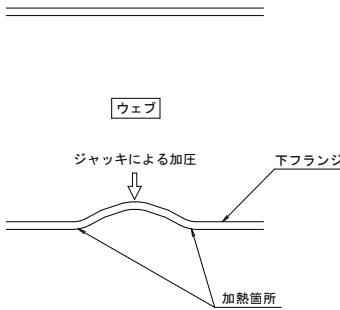


断面図

S=1:40 (A1版)
S=1:80 (A3版)



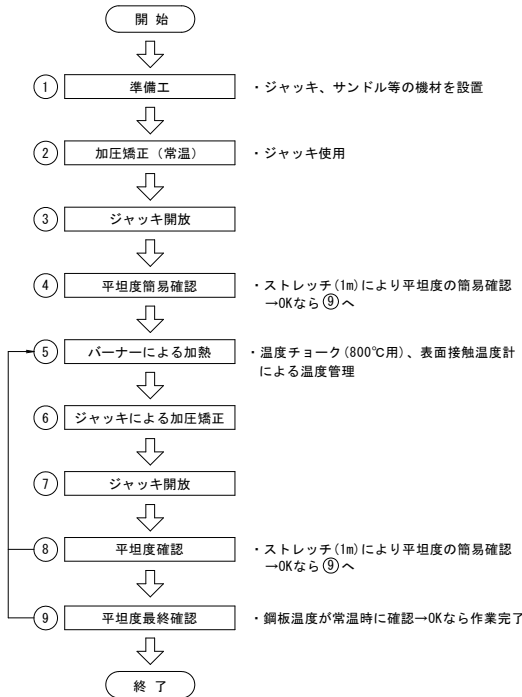
桁矯正工



主桁矯正工

部位	箇所
下フランジ	4

桁矯正の施工フロー



注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
- 再塗装工の色は監督職員と協議して決定すること。

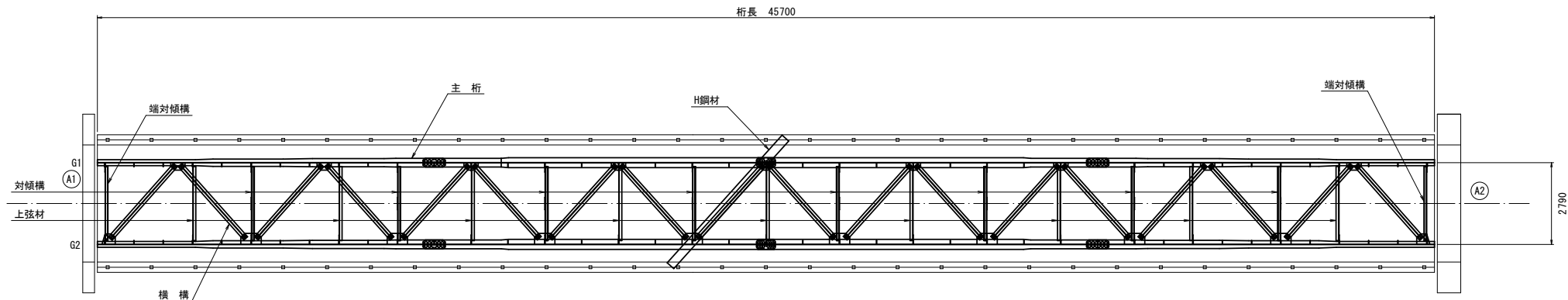
令和 7 年度			板沢橋橋梁補修工事		
工事番号		平 土 第 号			
路 線 名 河 川		碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線			
施 工 所 箇		平川市碓ヶ関 地内			
板沢橋 主桁表面処理設計図(その1)		縮尺 図 示			
図面番号		業 中			
平 川 市					
青 森 県					

15
25

板沢橋 主桁表面処理設計図(その1)

平 面 図

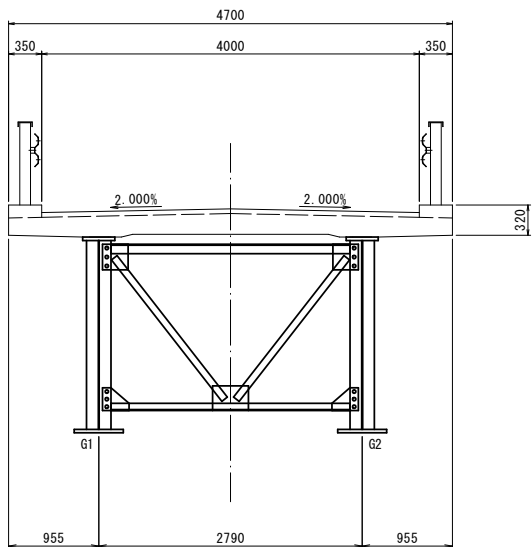
S=1:100 (A1版)
S=1:200 (A3版)



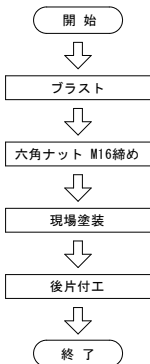
↓
平 川

断 面 図

S=1:40 (A1版)
S=1:80 (A3版)



塗装塗替え施工フロー



Rc-I 塗装系 (スプレー)^{※1}

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1 種 ※3		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日 ^{※2}
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

※1：原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。

※2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

※3：ブラスト処理による除せい度はISO Sa 2 1/2とする。

注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
- 再塗装工の色は監督職員と協議して決定すること。

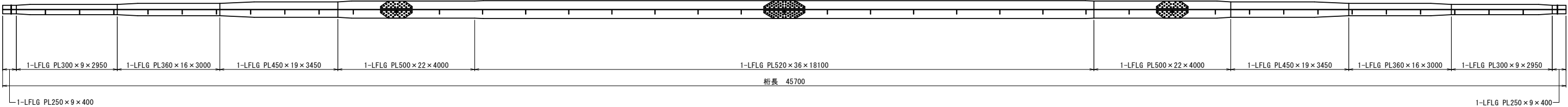
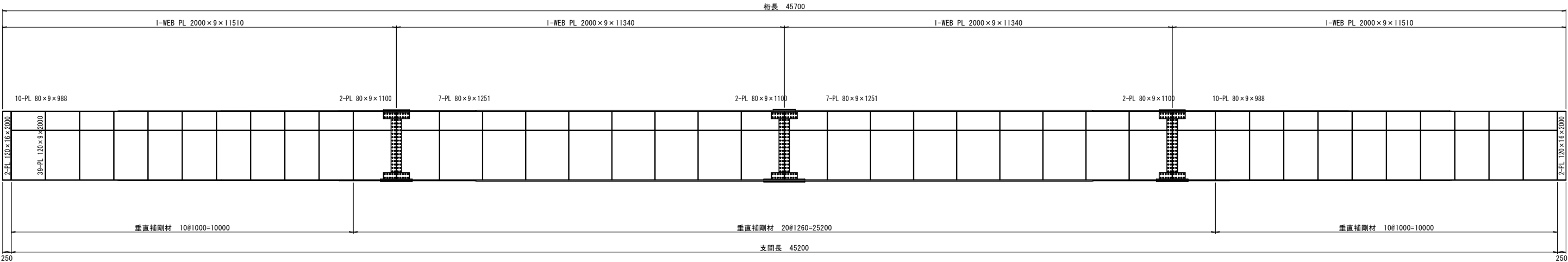
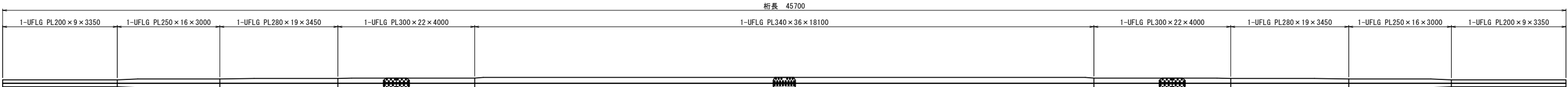
令和 7 年 度			板沢橋橋梁補修工事		
工事番号		平 土 第 号			
路 線 名		碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線			
施 工 所		平川市碓ヶ関 地内			
板沢橋 主桁表面処理設計図(その2)		縮 尺 図 示			
図面番号		業 中			
平 川 市					
青 森 県					

16
25

板 沢 橋 主 桁 表 面 処 理 設 計 図 (そ の 2)

S=1 : 60 (A1版)
S=1 : 120 (A3版)

主 桁



注 記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
4. 再塗装工の色は監督職員と協議して決定すること。

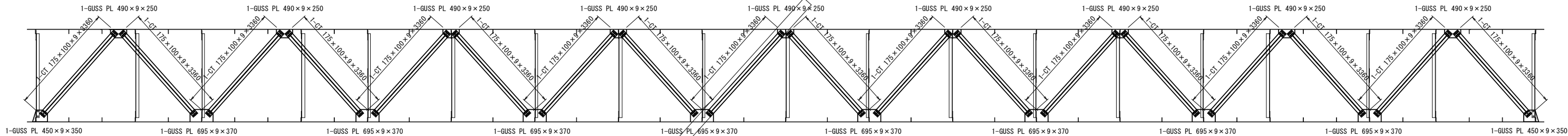
令和7年度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路 線 名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施 工 所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 主桁表面処理設計図(その3)	縮 尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

17
25

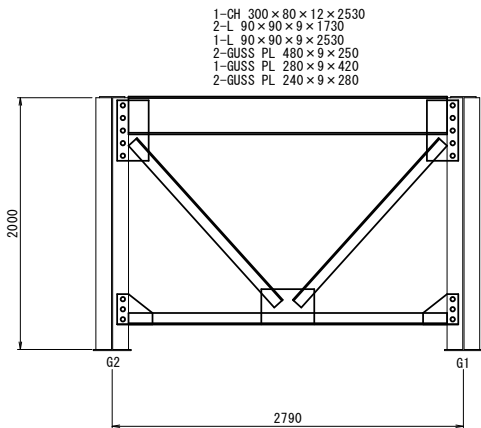
板沢橋 主桁表面処理設計図(その3)

下横構・端対傾構・対傾構・上弦材・H鋼材

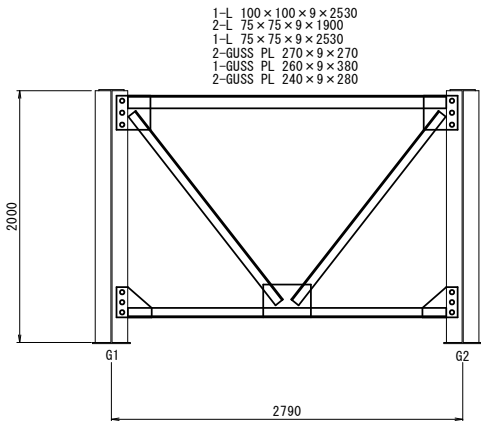
下横構 S=1 : 60 (A1版)
S=1 : 120 (A3版)



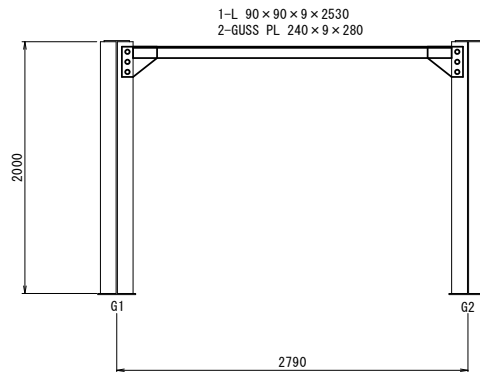
端対傾構 S=1 : 60 (A1版)
S=1 : 30 (A3版)



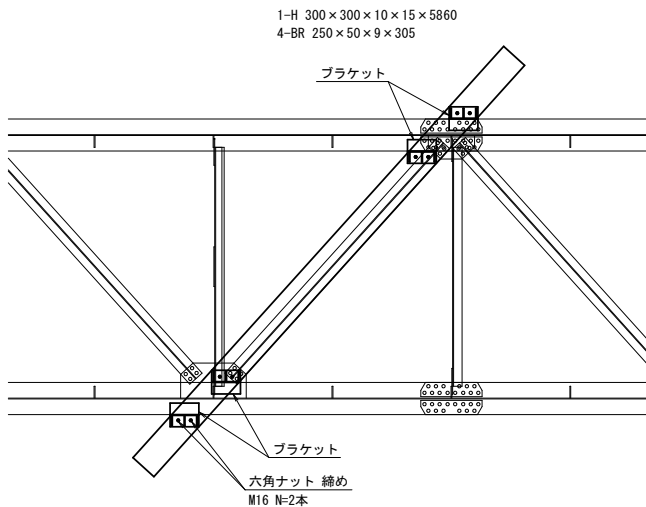
対傾構 S=1 : 30 (A1版)
S=1 : 60 (A3版)



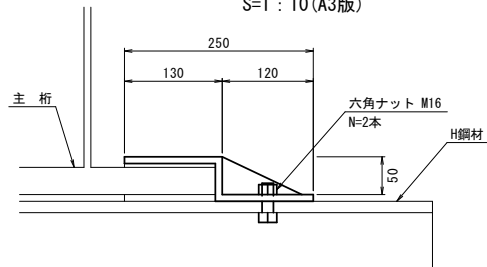
上弦材 S=1 : 30 (A1版)
S=1 : 60 (A3版)



H鋼材 S=1 : 40 (A1版)
S=1 : 80 (A3版)



ブラケット断面図
S=1 : 5 (A1版)
S=1 : 10 (A3版)



注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
- 再塗装工の色は監督職員と協議して決定すること。

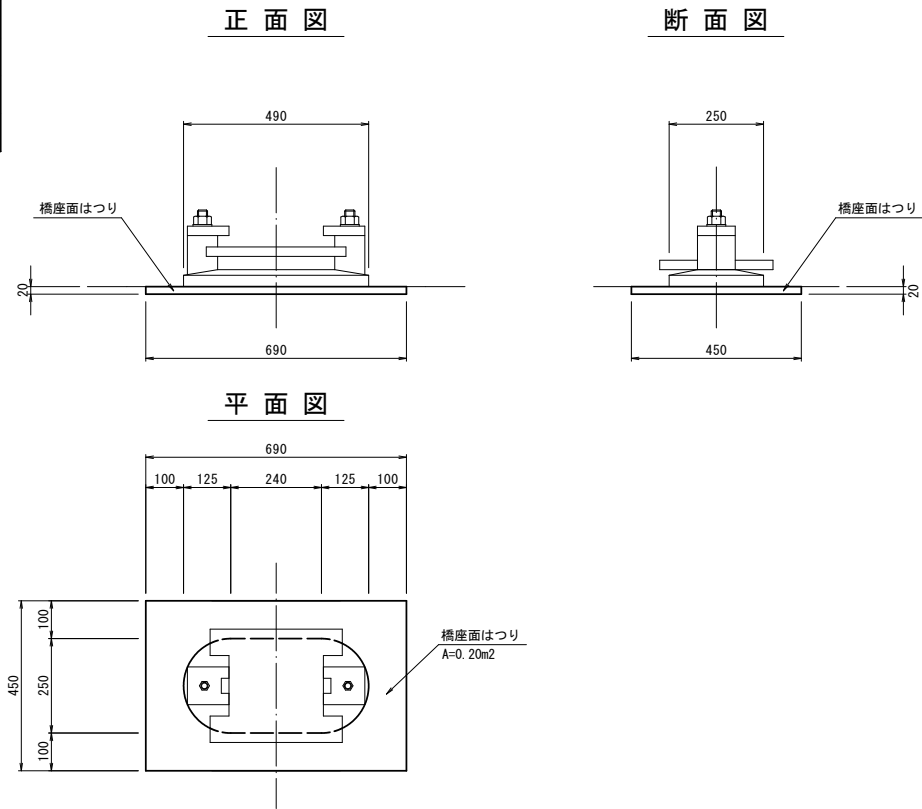
令和 7 年度			板沢橋橋梁補修工事		
工事番号		平 土 第 号			
路線名 河 川		碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線			
施工箇所 施 工 所		平川市碓ヶ関 地内			
板沢橋 支承工補修図			縮尺 S=1:10		
図面番号		業 中			
平 川 市					
青 森 県					

18
25

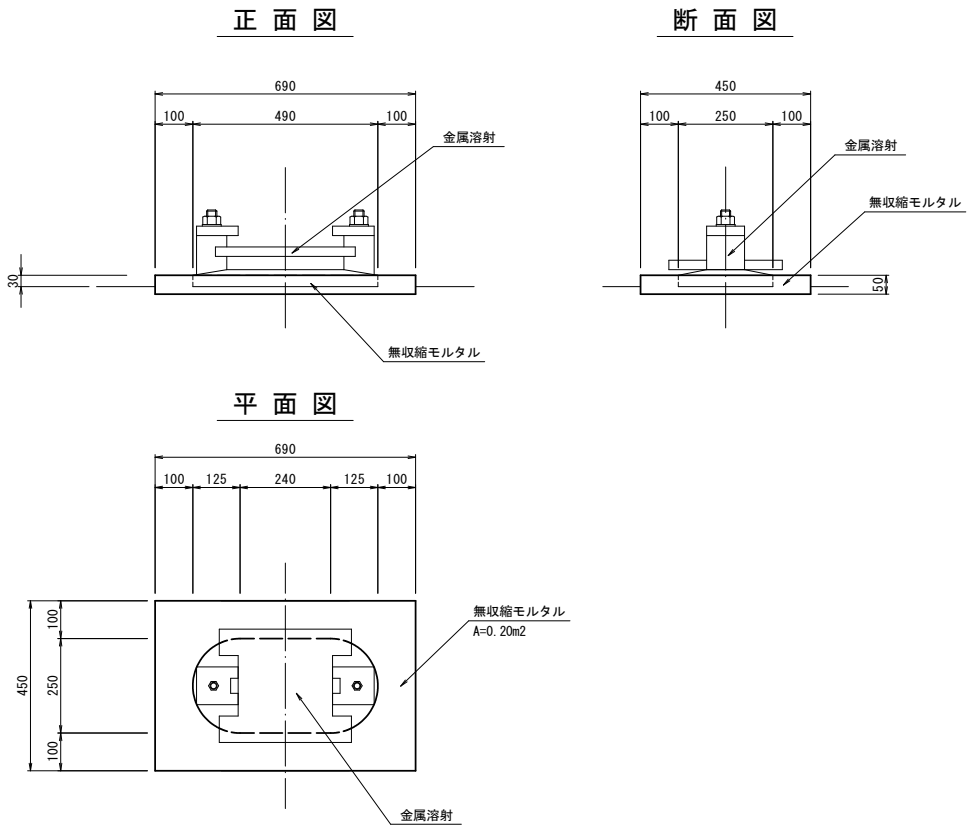
板沢橋 支承工補修図

S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)

Fix (A1橋台)

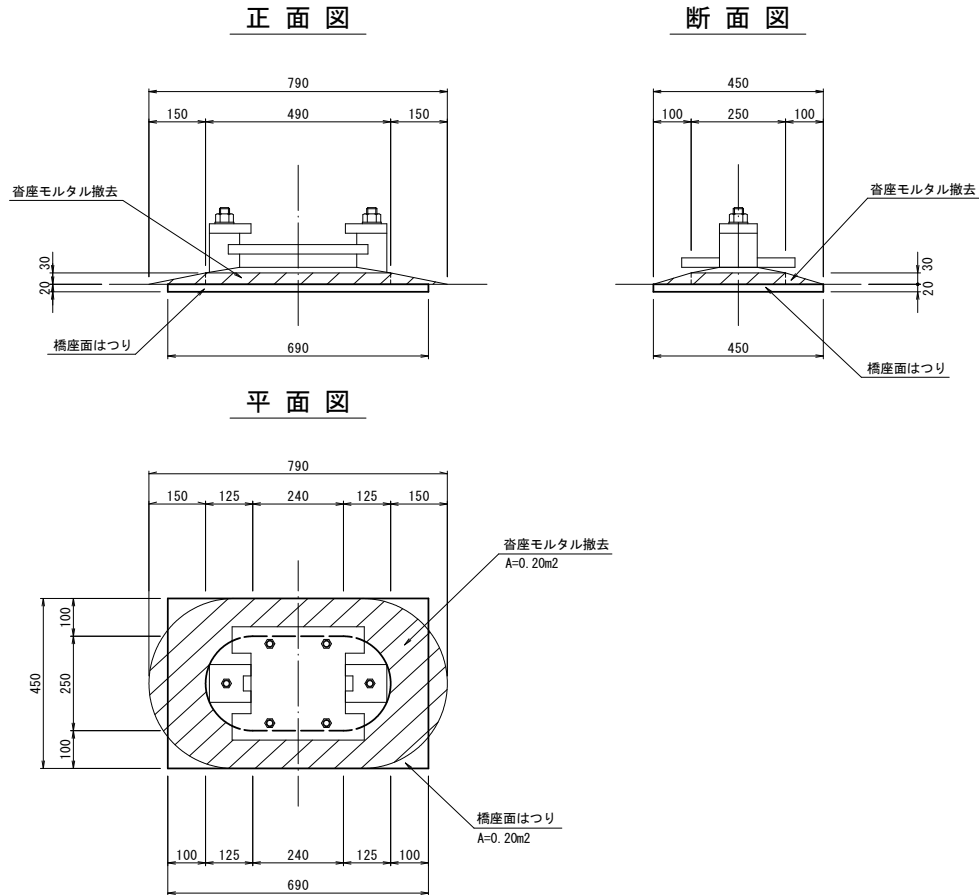


Fix (A1橋台)



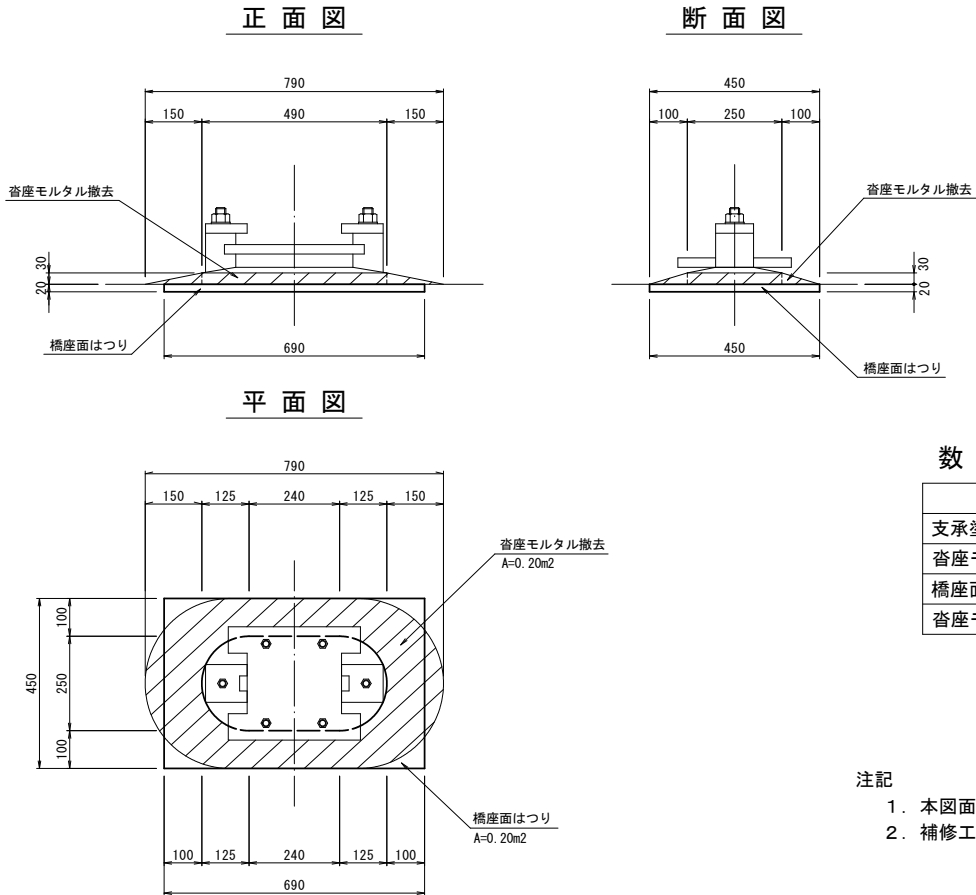
Mov (A2橋台)

S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)

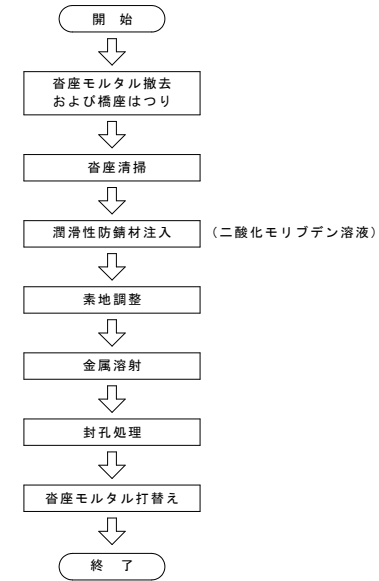


Mov (A2橋台)

S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)



支承補修の施工フロー



数 量 表

名 称	備 考	数 量
支承塗装塗替工	金 属 溶 射	4 基
沓座モルタル撤去工	2 箇 所	0.006m ³
橋座面はつり工	4 箇 所	0.016m ³
沓座モルタル復旧工	無収縮モルタル	0.040m ³

注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

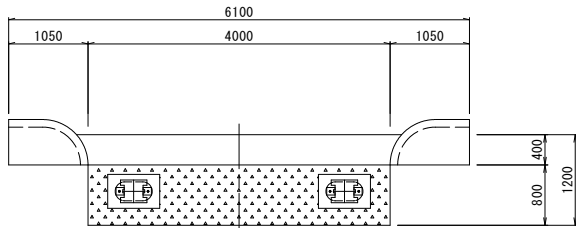
令和 7 年度		板沢橋橋梁補修工事	
工事番号		平 土 第 号	
路 線 名 河 川		碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線	
施 工 所 箇		平川市碓ヶ関 地内	
板沢橋 下部工 A1橋台補修図		縮尺 図 示	
図面番号		業 中	
平 川 市			
青 森 県			

19
25

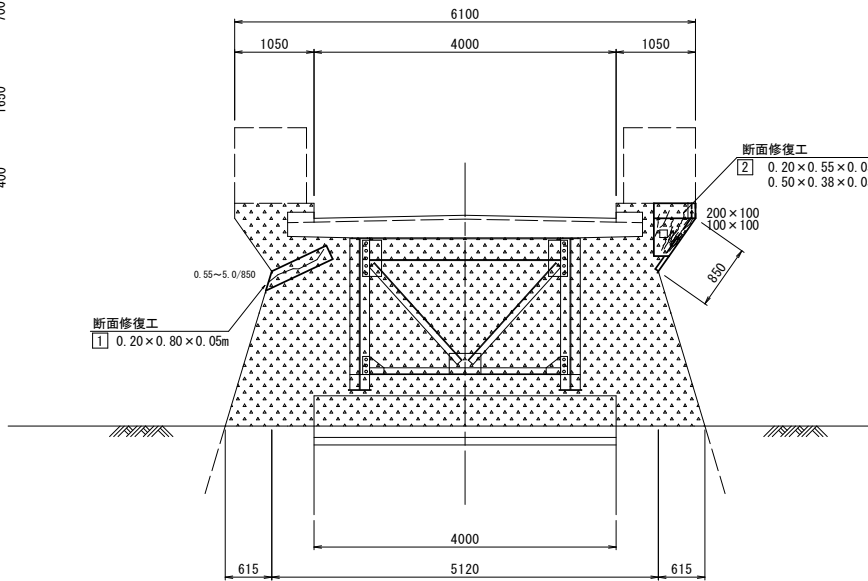
板沢橋 下部工 A1橋台補修図

S=1:50 (A1版)
S=1:50 (A1版)

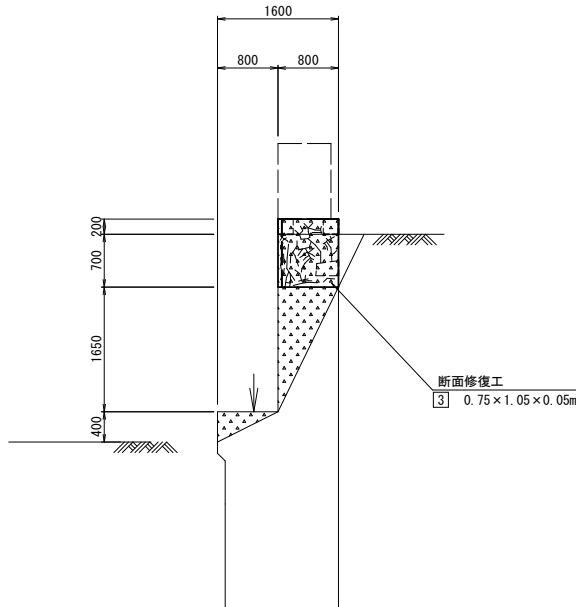
平面図



正面図

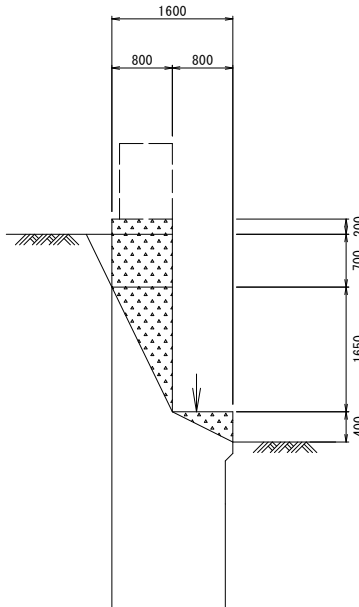


上流側



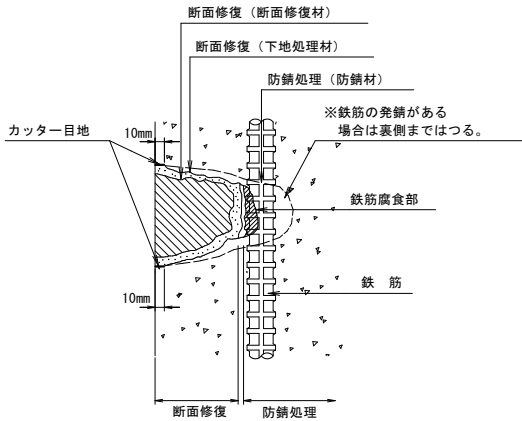
表面含浸工

下流側



断面修復工

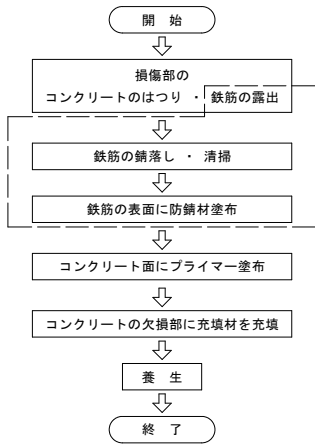
(左官工法)




断面修復工数量表

位置	幅 (m)	延長 (m)	深さ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
①	0.20	0.80	0.05	0.160	0.0080
②	0.20	0.55	0.05	0.110	0.0055
	0.50	0.38	0.05	0.190	0.0095
③	0.75	1.05	0.05	0.788	0.0394
合 計				1.25	0.062

断面修復工の施工フロー

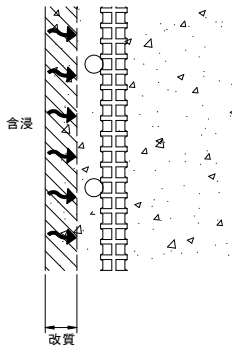


※  鉄筋の発錆がある場合実施する。

材料表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防 錆 材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

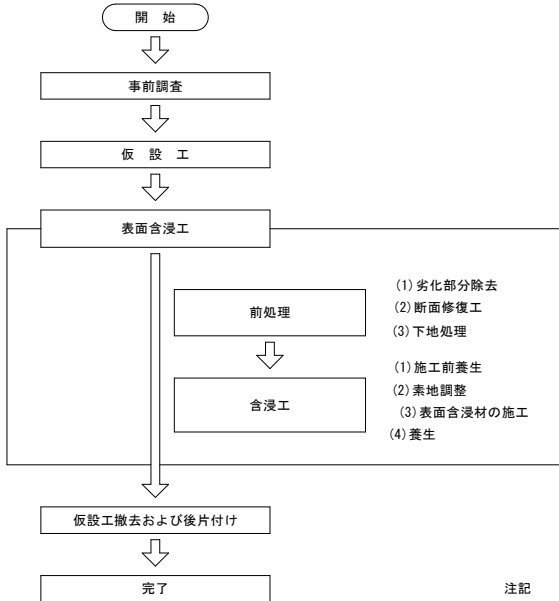
表面含浸工



表面含浸工面積

部 位	面 積
上 面	2.58
正 面	14.85
側面（上流）	1.54
側面（下流）	1.54
合 計	20.5 m2

表面含浸工のフローチャート



注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

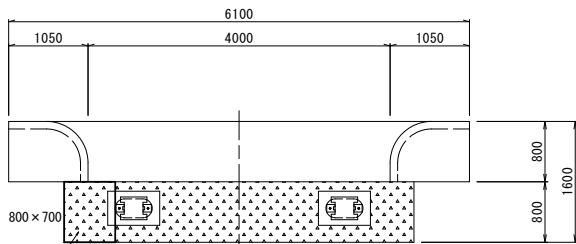
令和7年度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路線名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施 工 所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 下部工 A2橋台補修図	縮尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

20
25

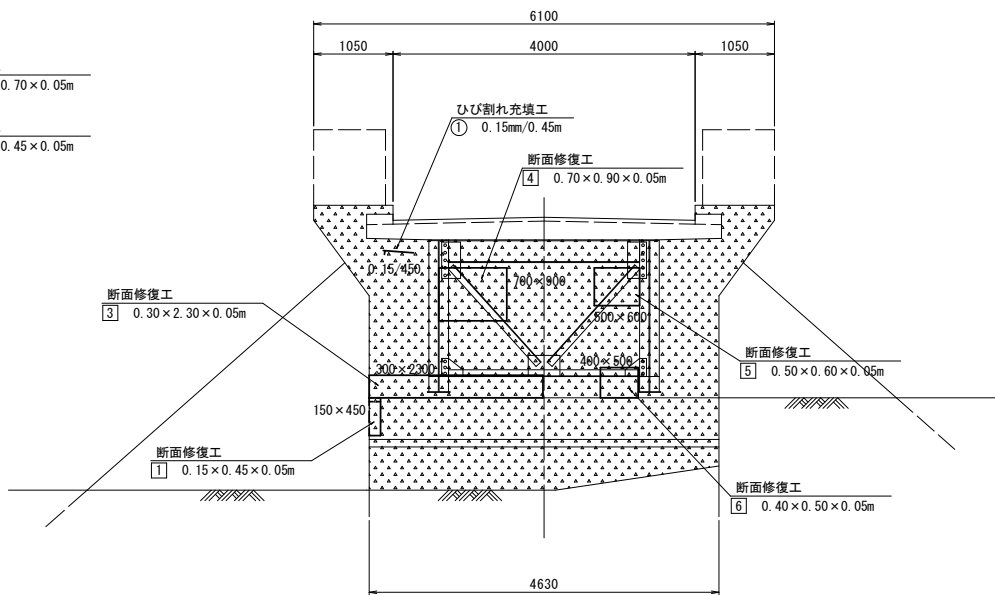
板沢橋 下部工 A2橋台補修図

S=1:50 (A1版)
S=1:100 (A3版)

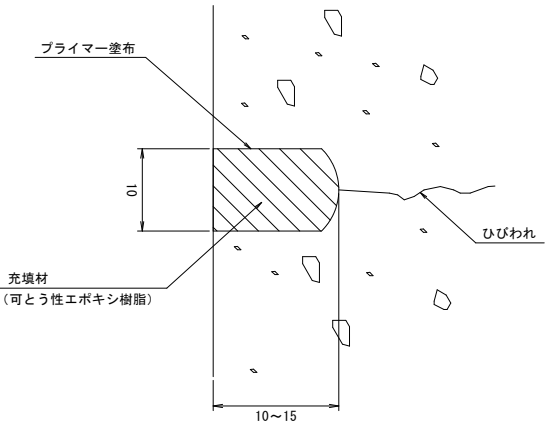
平 面 図



正 面 図



ひび割れ充填工



※ ひびわれ幅1.0mm以上または遊離石灰により注入が困難な場合とする。

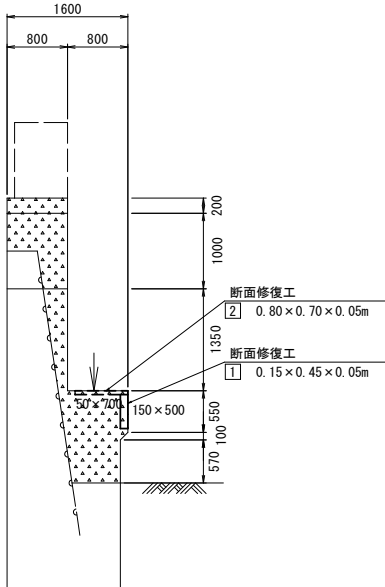
ひび割れ充填工延長

位 置	延 長
①	0.45 m
合 計	0.45 m

材 料 表

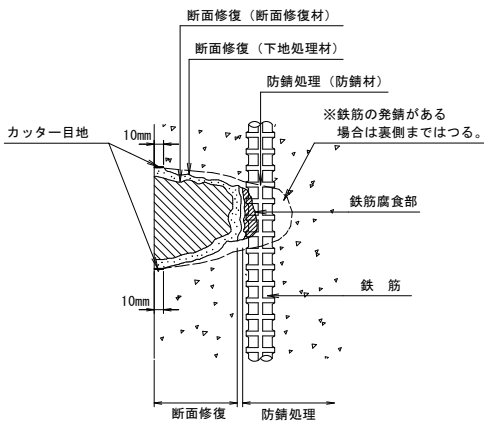
工 種	仕 様
充 填 材	可とう性エポキシ樹脂

下 流 側



断面修復工

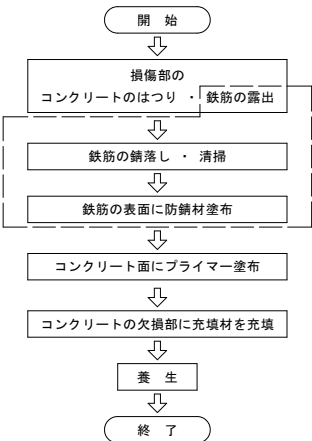
(左官工法)



断面修復工数量表

位置	幅 (m)	延長 (m)	深さ (m)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	0.15	0.45	0.05	0.068	0.0034
②	0.80	0.70	0.05	0.560	0.0280
③	0.30	2.30	0.05	0.690	0.0345
④	0.70	0.90	0.05	0.630	0.0315
⑤	0.50	0.60	0.05	0.300	0.0150
⑥	0.40	0.50	0.05	0.200	0.0100
合 計				2.45	0.12

断面修復工の施工フロー

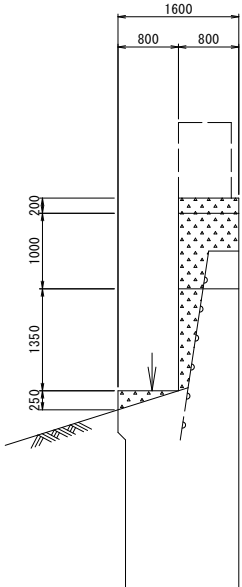


※ □ □ 鉄筋の発錆がある場合実施する。

材 料 表

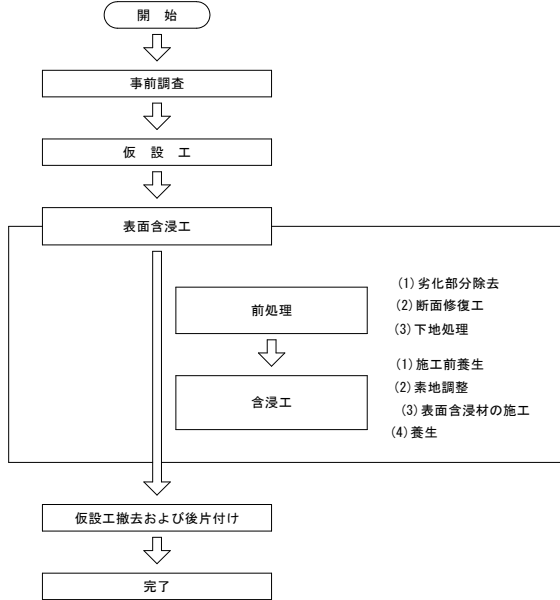
工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防 錆 材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

上 流 側



表面含浸工

表面含浸工のフローチャート



表面含浸工面積

部 位	面 積
上 面	3.08
正 面	16.09
側面 (上流)	1.14
側面 (下流)	2.00
合 計	22.3 m ²

注 記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

令和 7 年 度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路 線 名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施 工 所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 親柱補修図(その1)	縮 尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

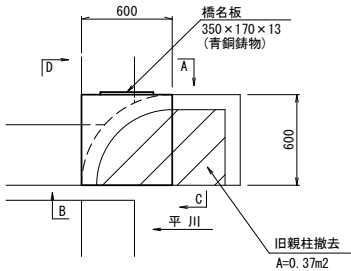
21
25

板沢橋 親柱補修図（その1）

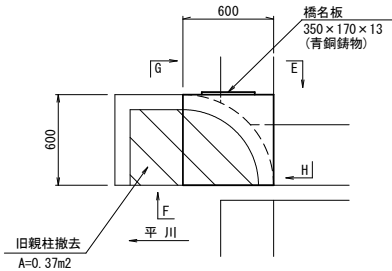
S=1:25 (A1版)
S=1:50 (A3版)

構造図 (A1橋台)

平面図
(上流側)

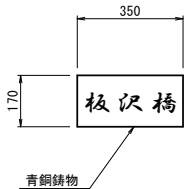


平面図
(下流側)

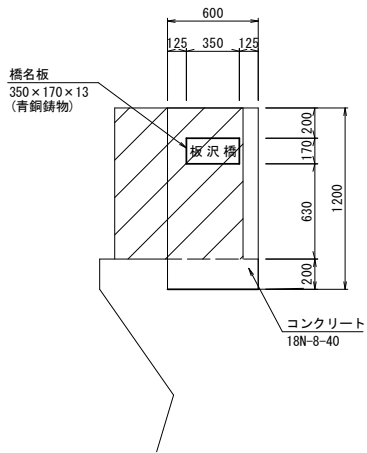


橋名板

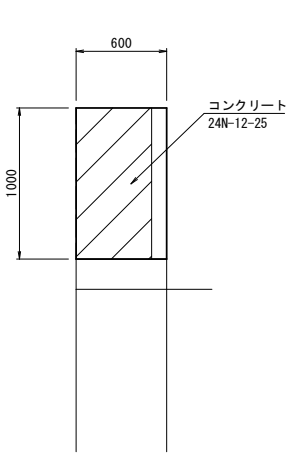
S=Free



A - A'

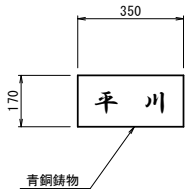


C - C'

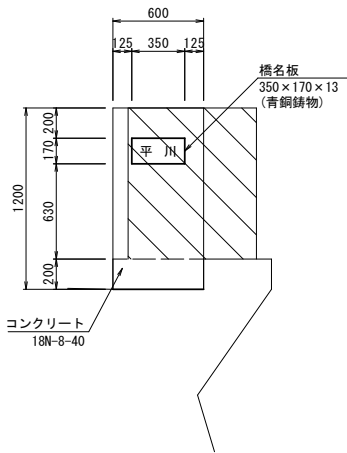


橋名板

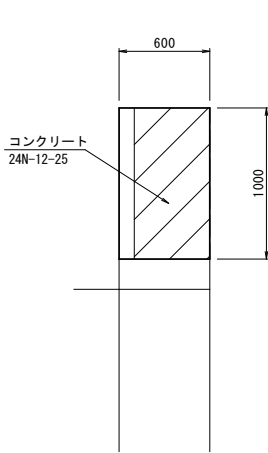
S=Free



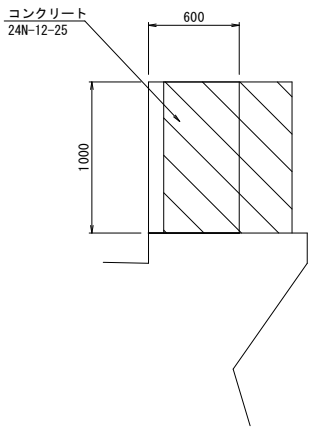
E - E'



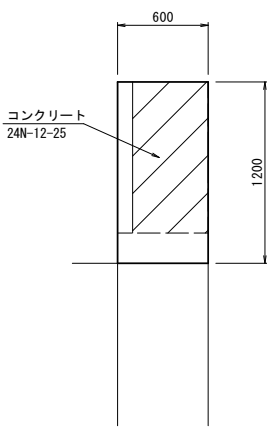
G - G'



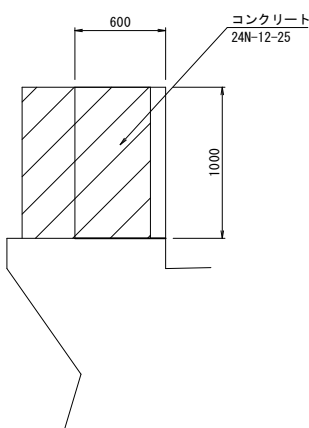
B - B'



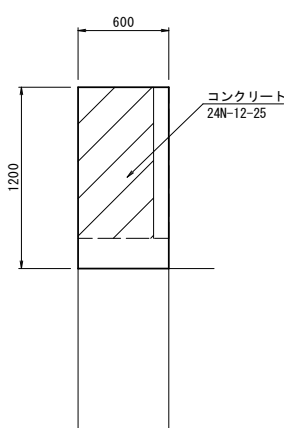
D - D'



F - F'



H - H'



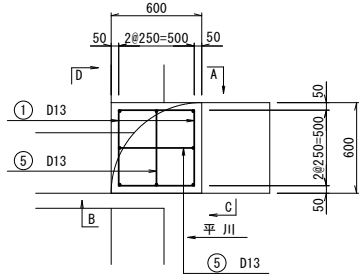
注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

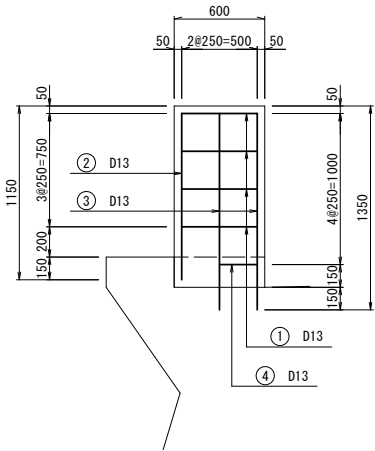
令和7年度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路 線 名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施 工 所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 親柱補修図(その2)	縮 尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

22
25

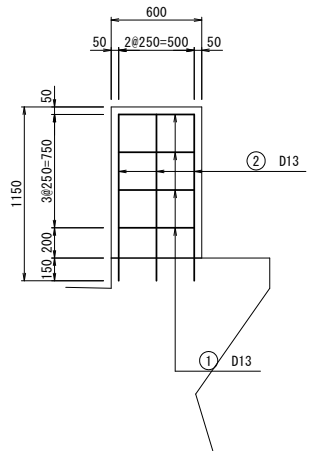
平 面 図
(上流側)



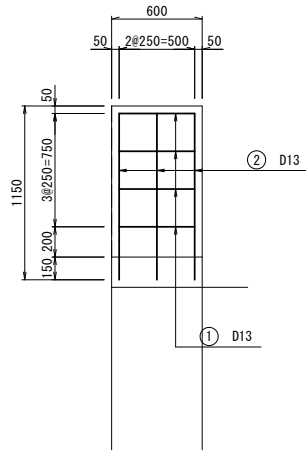
A - A'



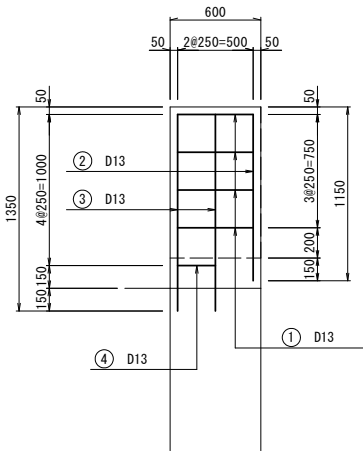
B - B'



C - C'



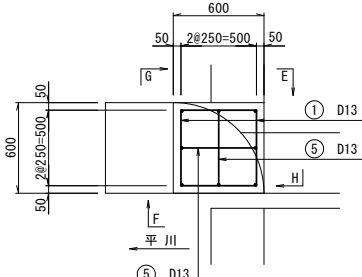
D - D'



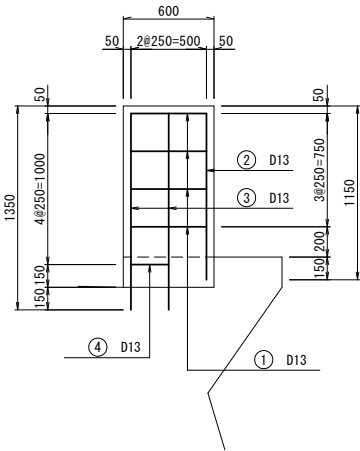
配筋図(A1橋台)

S=1:25 (A1版)
S=1:50 (A3版)

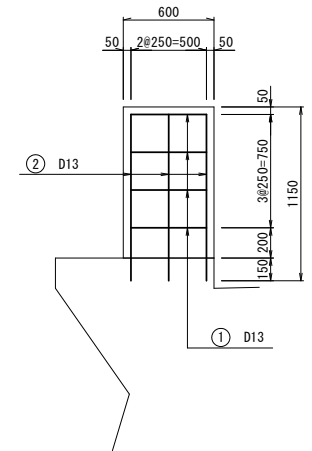
平 面 図
(下流側)



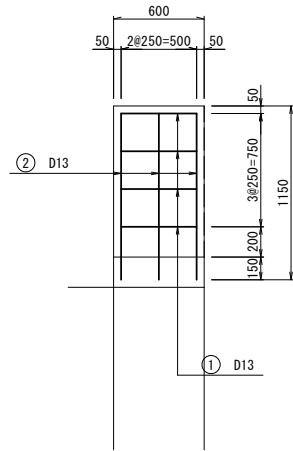
E - E'



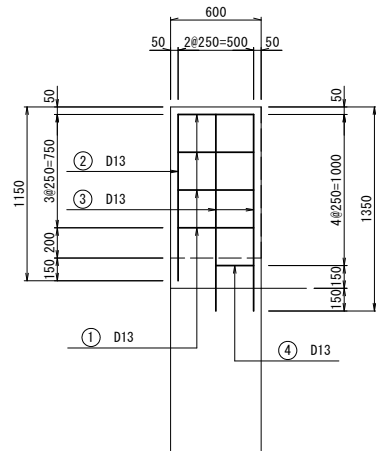
F - F'



G - G'

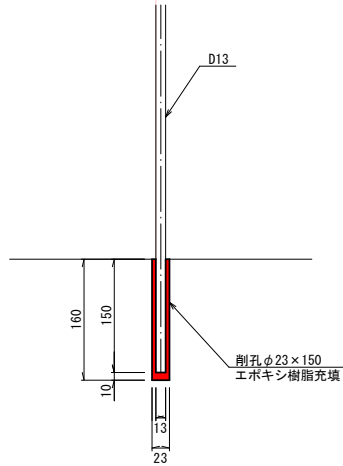


H - H'



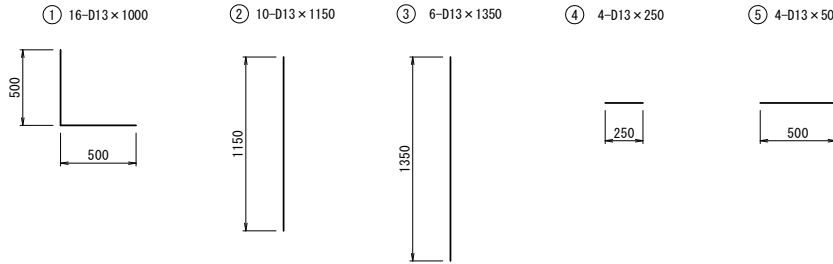
鉄筋定着部詳細図

S=1:5 (A1版)
S=1:10 (A3版)



鉄筋加工図(A1橋台)

S=1:25 (A1版)
S=1:50 (A3版)



鉄 筋 重 量 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	摘要
1	D13	1000	16	0.995	0.995	16	
2	D13	1150	10	0.995	1.144	11	
3	D13	1350	6	0.995	1.343	8	
4	D13	250	4	0.995	0.249	1	
5	D13	500	4	0.995	0.498	2	
合 計					D13	38 kg	
総重量						38 kg	

注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

令和7年度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路線名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施工所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 親柱補修図(その3)	縮尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

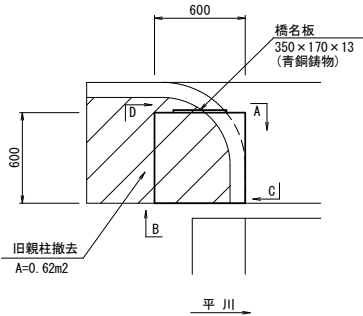
23
25

板沢橋 親柱補修図（その3）

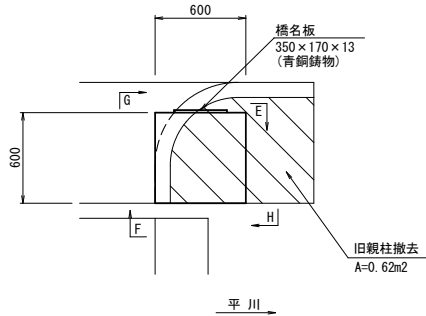
S=1:25 (A1版)
S=1:50 (A3版)

構造図 (A2橋台)

平面図
(上流側)

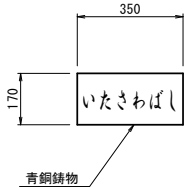


平面図
(下流側)

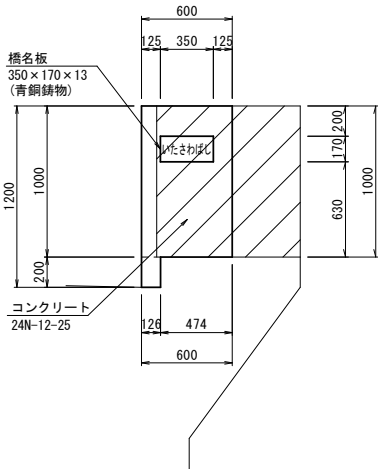


橋名板

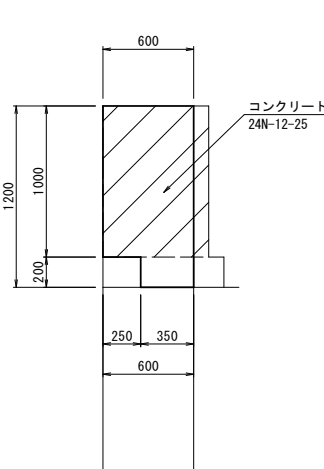
S=Free



A - A'

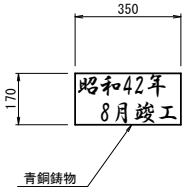


C - C'

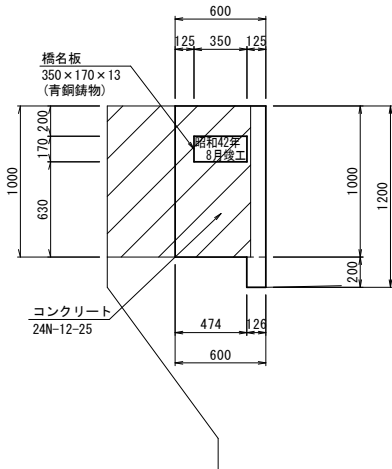


橋名板

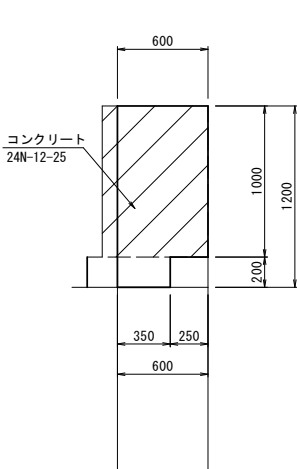
S=Free



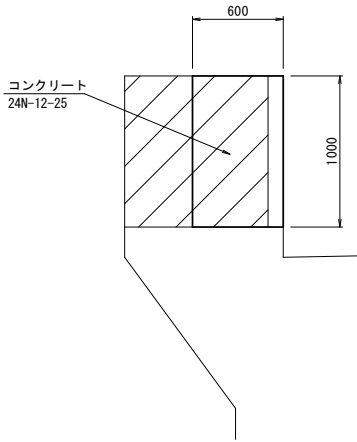
E - E'



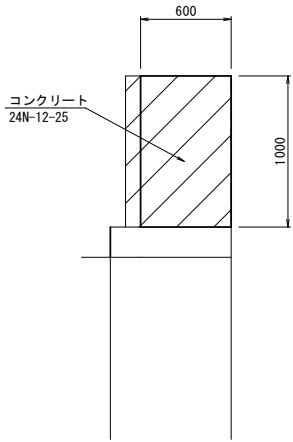
G - G'



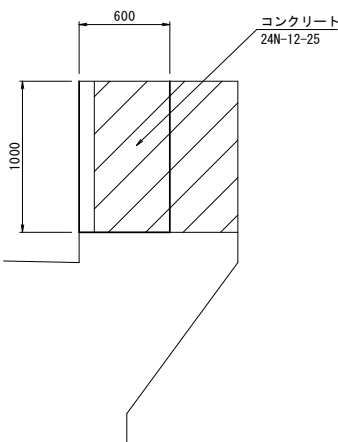
B - B'



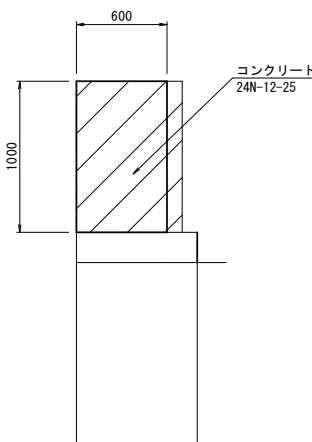
D - D'



F - F'



H - H'



注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

令和7年度 板沢橋橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路 線 名	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施 工 所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 親柱補修図(その4)	縮 尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

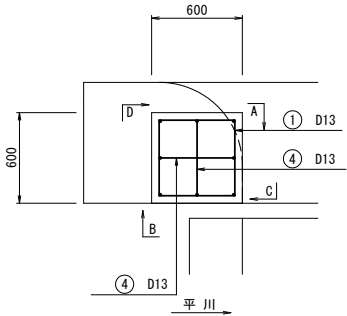
24
25

板沢橋 親柱補修図 (その4)

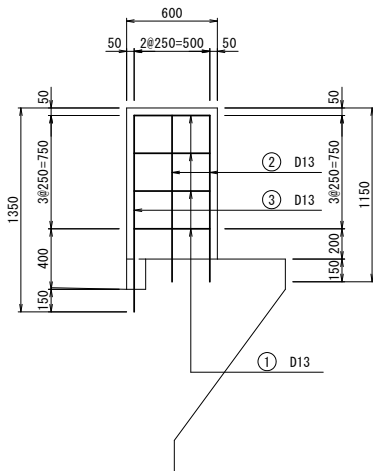
S=1:25 (A1版)
S=1:50 (A3版)

構造図 (A2橋台)

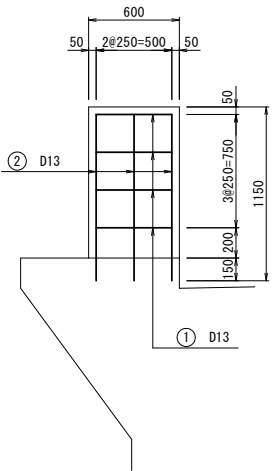
平面図
(上流側)



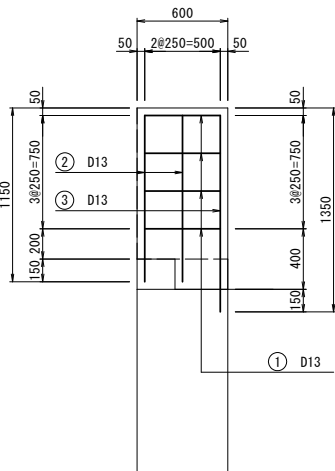
A - A'



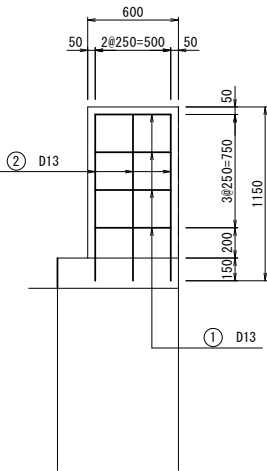
B - B'



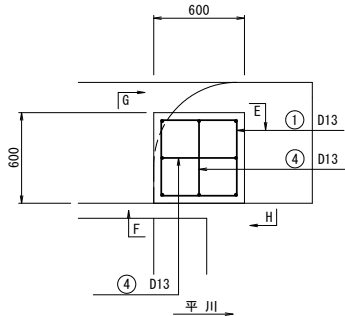
C - C'



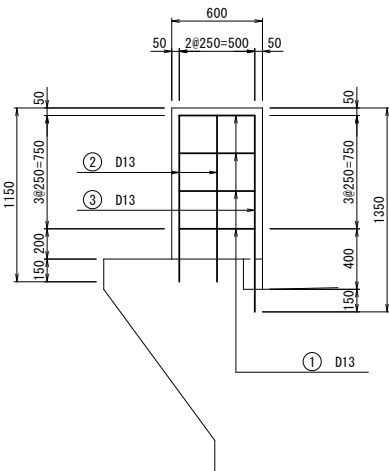
D - D'



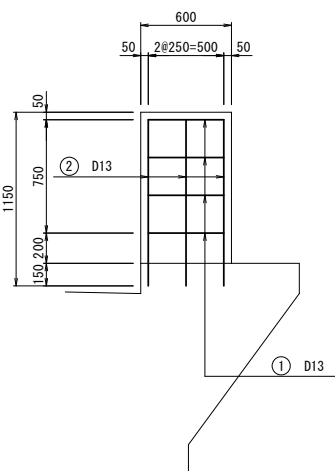
平面図
(下流側)



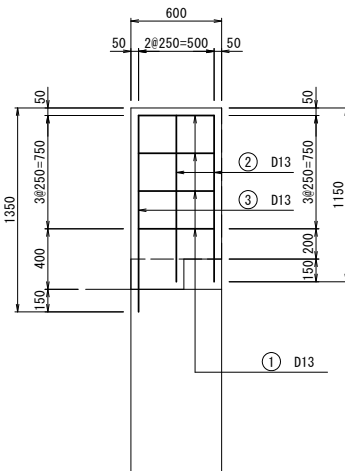
E - E'



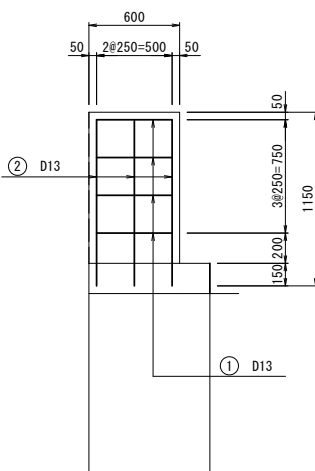
F - F'



G - G'

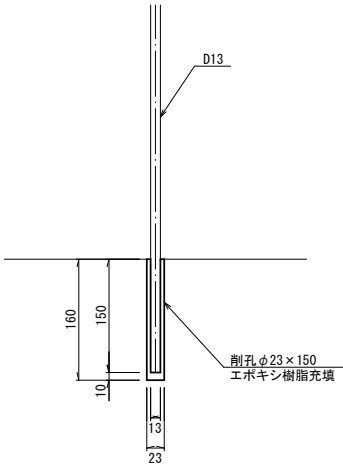


H - H'



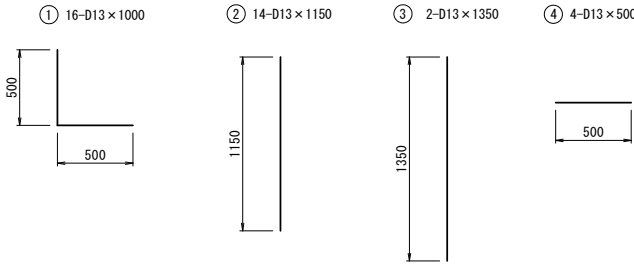
鉄筋定着部詳細図

S=1:10 (A1版)
S=1:20 (A3版)



鉄筋加工図 (A2橋台)

S=1:25 (A1版)
S=1:50 (A3版)



鉄 筋 重 量 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	摘要
1	D13	1000	16	0.995	0.995	16	└
2	D13	1150	14	0.995	1.144	16	└
3	D13	1350	2	0.995	1.343	3	└
4	D13	500	4	0.995	0.498	2	└
合 計						D13 37kg	
総重量						37kg	

- 注記
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 - 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

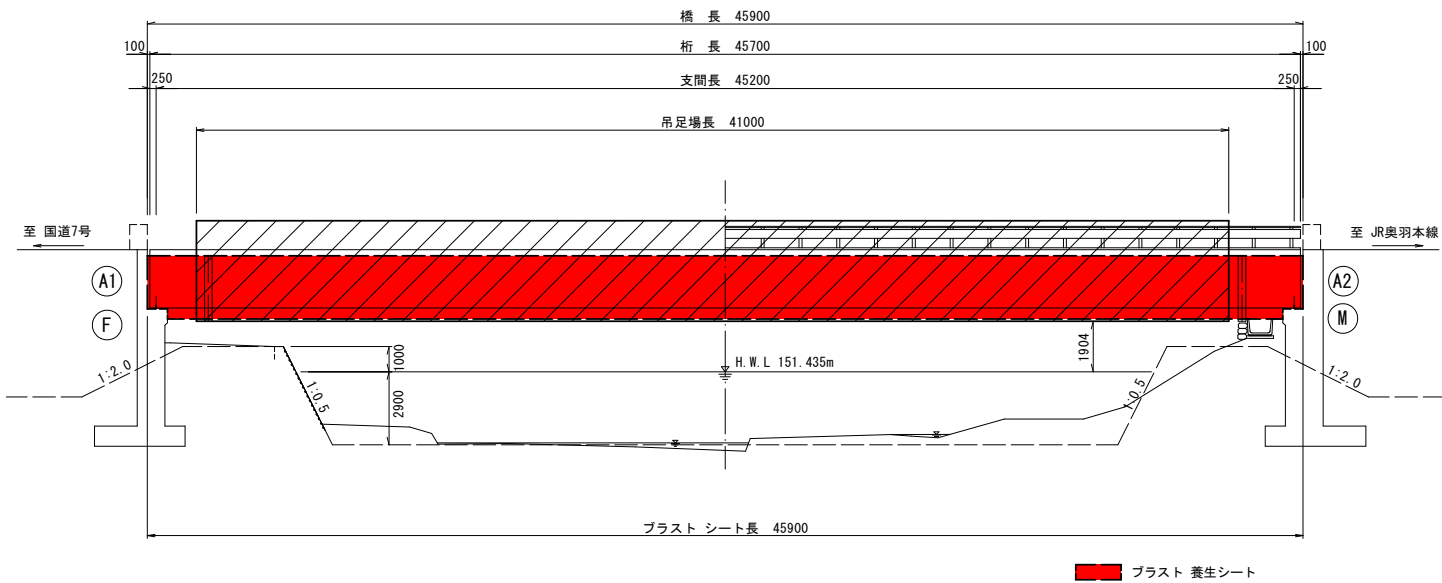
令和7年度 板沢橋梁補修工事	
工事番号	平 土 第 号
路線名 河 川	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線
施 工 所 施 工 場 所	平川市碓ヶ関 地内
板沢橋 仮設足場工 参考図	縮尺 図 示
図面番号	業 中
平 川 市	
青 森 県	

25
25

板沢橋 仮設足場工 参考図

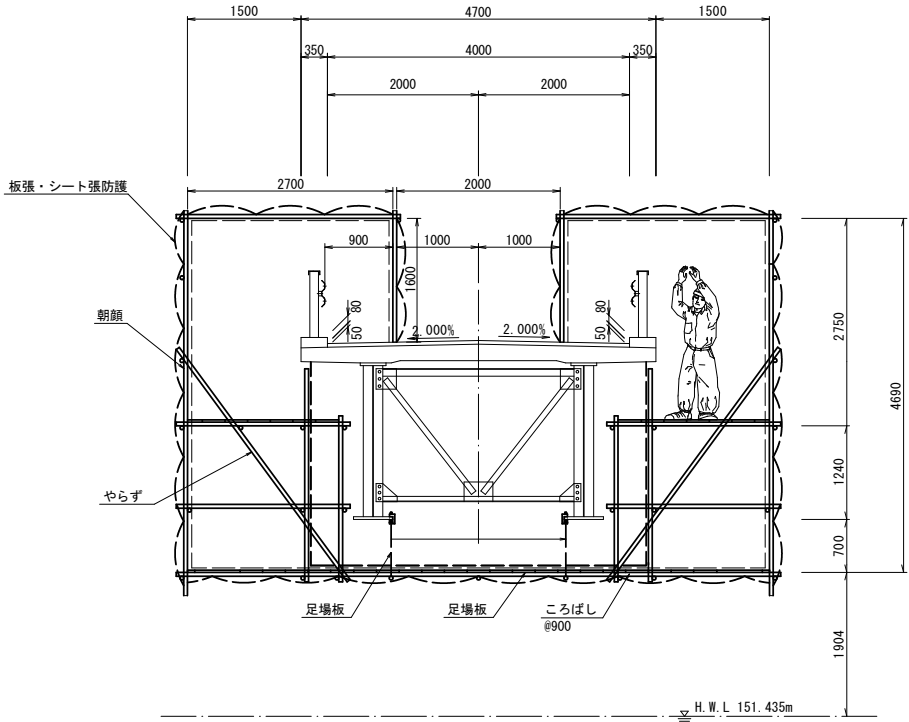
側 面 図

S=1:150 (A1版)
S=1:300 (A3版)



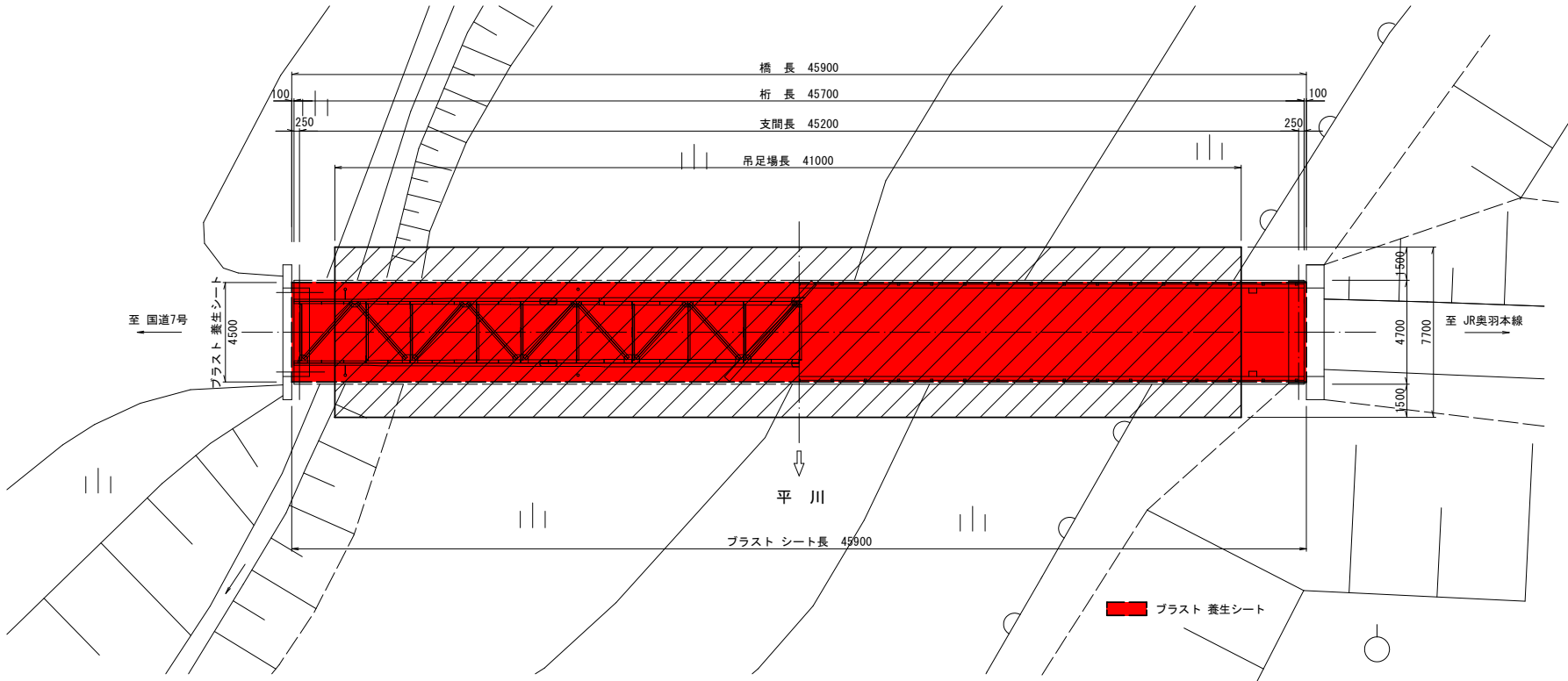
断 面 図

S=1:50 (A1版)
S=1:100 (A3版)



平 面 図

S=1:150 (A1版)
S=1:300 (A3版)



- 注記
1. 本図面は、既存資料・現地検測をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。